

19

外務省文書課
教第 324 号
15108.

附屬書類添附

拓一第 七四八 號

條約局

簽込名

大正十五年十月七日

内閣右種局長 里金泰義

外務次官 出淵勝次 殿

國際聯盟ニ提出スヘキ一九二五年度阿比年表ニ
關スル件

首題ノ件ニ關シ八月二十四日附條ニ機密第五三九號ヲ以テ御
申越シ慶朝總領事館ヲリ別紙傳ノ旨回答越候ニ付御了知
相成度右及送付候也

進テ暹羅總領事館及蘭東廳ニ對シテ八月下摺紙中ニ付回
答越次第届報可致申悉候

寫

衛文第三二〇二號

大正十五年九月十四日

朝鮮總督府政務總監 湯淺倉平

內閣拓殖局長 黒金泰義殿

國際聯盟ニ提出スヘキ千九百二十五年
度阿片年報ニ關スル件

八月二十八日附拓一第七四八號ヲ以テ御照會相成候首題ノ件ニ關
シ調査候處別紙ノ通ニ有之候條及回答候也

朝鮮總督府ヨリ提出ノ年報

(一) 乙 藥品別
(A) 生産

内閣

内閣

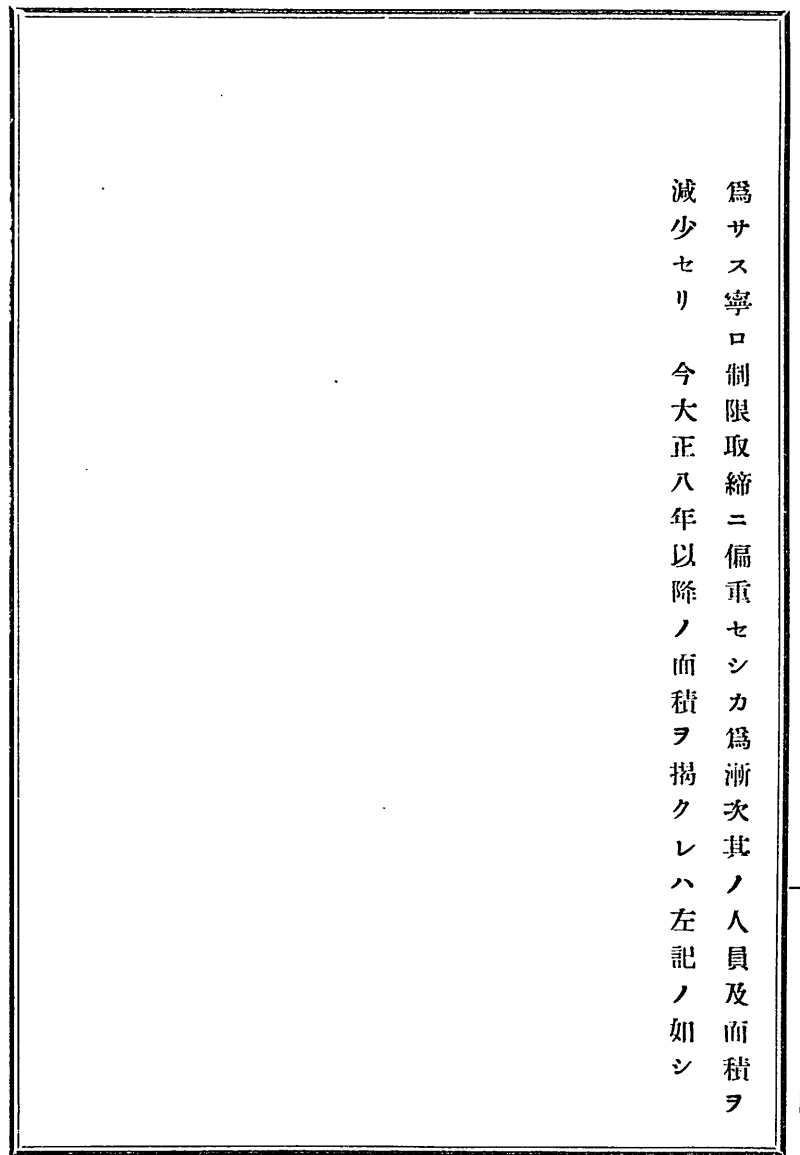
粟栽培地面積 二四、八六〇「アール」

一九二四年度ニ比シ八、二三五「アール」ノ激減ナルカ其
ノ理由

朝鮮ニ於ケル阿片製造ハ曩ニ歐州戰亂ノ際藥品ノ市價暴騰
ニ伴ヒ一時的ノ投機熱ニ浮サレ急劇ナル増加ヲ爲シタルモ
大戰ノ終熄ト共ニ物價平調ニ歸シ阿片ノ價格下落スルト共
ニ賠償價格ヲ漸次引下ケタルト地味肥沃ナル朝鮮地方ニ在
リテハ對抗作物ニ比シ利益少キト製法ノ不熟練ナルカ爲失
敗ニ終ル者多ク栽培者漸次減少シ現時ニ在リテハ阿片製造
ニ經驗アル咸鏡南北道及黃海道等ノ奥地ニシテ他ニ何等代
用作物ナキ地ノミニ於テ製造シ殆ント之等ノ地方ニ於ケル
生産トナレリ然ルニ之カ製造ノ許可及取締ハ主トシテ警察
官署ニ於テ其ノ取扱ヲ爲セルカ其ノ職能トシテ指導獎勵ヲ

爲サス寧口制限取締ニ偏重セシカ爲漸次其ノ人員及面積ヲ減少セリ 今大正八年以降ノ面積ヲ掲クレハ左記ノ如シ

内閣



年次	栽培人員	栽培面積 アール
一九一九年	六、九八四	二二八、九二二
一九二〇年	一九八	九、三九七
一九二一年	一、二五〇	四四、九一七
一九二二年	一、一三四	四四、七三八
一九二三年	一、〇一二	三六、四六二
一九二四年	八五九	三三、〇九五
一九二五年	六四七	二四、八六〇

右ノ如ク大正十年以降年ト共ニ減少シ一九二五年ニ於テハ前年ニ比シ八、二三五アールノ減少ヲ見ルニ至レリ

(二) 一九二四年度ノ生阿片ノ殘高ニシテ一九二五年度ニ繰越消費セラレタル數量 四九二、八五八瓦

(三) 製薬用ニ使用セラレタル生阿片ノ數量及種類中ノ「其ノ他ノ

内閣

醫藥「用トシテ一四、九一三瓦ヲ消費セルカ其ノ内譯藥品名ヲ舉クレハ左ノ如シ

品名	數	量	生阿片使用量
阿片丁幾	一〇〇、六九九	瓦	一三、〇七〇
ドーフル散	一三、六〇八	同	一、七二六
阿片安息香丁幾	一九、五〇四	同	一一七
計			一四、九一三

内閣

(四) モルヒネ
(六) モルヒネ
(A) 輸入

内閣

鹽酸モルヒネ移入量ハ再調ノ結果二、八八四瓦ニ付訂正セラレ度

「モルヒネ」含有製劑ノ内譯

名稱	數	量	鹽酸モルヒネ含有量	純モルヒネ換算量
鹽酸モルヒネ注射液	三六、八七〇	管	三六八、七〇	二七二、〇六
鹽酸モルヒネ錠	一九、〇五〇	錠	九五、二五	七〇、二九
ナルコボン末	二、五五〇	瓦	二七五、〇〇	九四〇、八二
ナルコボン注射液	一九、〇八〇	管	一九〇、八〇	一四〇、七九
ナルコボン錠	一、八〇〇	錠	九、〇〇	六、六四
パントボン末	七、三七〇	瓦	六八五、〇〇	二、七一九、一六

品名		仕向先		輸	間島	奉天	移出	東京	計
鹽酸モルヒネ	パントポン	パントポン	パントポン						
三、三六〇	三、三六〇	四、七七六	二、八〇〇	管	管	管	管	管	瓦
七〇	七〇	一、二〇〇	一、二〇〇	管	管	管	管	管	瓦
		三、〇〇〇	一、四五〇	管	管	管	管	管	瓦
		二、二六五	三、七七三	管	管	管	管	管	瓦
七〇	七〇	四、八〇〇	二、八〇〇	管	管	管	管	管	瓦

(c) 輸出
鹽酸「モルヒネ」及「モルヒネ」含有製劑ノ仕向地ノ内容

内閣

計	パントポン	パントポン	パントポン	パントポン	パントポン	パントポン	パントポン	パントポン	パントポン
五、六、八一〇	二、〇〇〇	一、六、二〇〇	一、九二〇	三、〇〇〇	六、〇〇〇	一、〇〇〇	三、二四〇	一、〇〇〇	五、六、八一〇
五、六、八一〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、八、四〇〇	三、七、五〇〇	七、五〇〇	一、二、七五〇	三、二四、〇〇〇	一、〇〇〇	五、六、八一〇
四、一九、二〇〇	七三、七五	二、三九、〇八	二、八、三四	二、七、六七	五、五三	九、四一	四、九五二、七四		四、一九、二〇〇

内閣

研-0324

デシ ピウム	ン モ ル フ エ チ	ン モ ル フ エ チ	ン モ ル フ エ チ	鹽 酸 コ カ イ	ネ 鹽 酸 注 射 液	鹽 酸 モ ル ヒ	ナル コ ボ ン	ナル コ ボ ン	ギ ン 注 射 液	ス バ ス マ ル
									六〇 管	
								一一〇 管		
								一〇、九一七 管		
四八二五 瓦	二三八五 瓦	一九一一 管	二九九〇 管	一七三四 管	六〇〇 錠	六〇〇 錠	〇三七 管	六〇 管		
八二五 瓦	二三八五 瓦	九一一 管	九九〇 管	七三四 管	六〇〇 錠	六〇〇 錠	〇三七 管	六〇 管		

内
閣

備考 東京ニ移出シタルモノハ支店ヨリ本店ニ返送セルモノナリ

(五)(七) ヘロイン(チアセチール モルヒネ)

(A) 移入
鹽酸ヘロイン移入量ハ再調ノ結果一、四四七、五ナリ

(B) 輸出數量五〇瓦ノ仕向地ハ支那間島ナリ

(六)(八) 醫藥用阿片
移入數量醫藥用阿片一、〇〇〇瓦ハ一〇、〇〇〇瓦ノ誤記ニ付訂正アリタシ(本調査ハ全部歷年ニ依ル)
阿片含有製劑七、一八九瓦ノ内譯左ノ如シ

内
閣

薬品名	数	含有阿片量
阿片丁幾	四〇、四五〇瓦	四、〇四五瓦
ドーフル散	二四、八七五瓦	二、四八七、五瓦
ドーフル錠	六、〇〇〇錠	一八〇、〇瓦
デシビウム	二、五〇〇瓦	二五〇、〇瓦
阿片吐根錠	三、〇〇〇錠	一五〇、〇瓦
計		七、一一二、五瓦

備考 再調ノ結果含有阿片量七、一一二、瓦五ニ付訂正セラレタシ

(七) コカイン

(九) (B) 輸出鹽類「コカイン」一一四瓦ノ仕向地ハ全部支那開島ナリ

内閣

(八) 阿片條約ノ適用アル其ノ他他ノ藥品

(十) 移入ノ燐酸「コデイン」ノ數量ハ二九、一七二瓦鹽酸「エチルモルヒネ」ノ移入數量ハ再調ノ結果三、二二五瓦ナリ

(九) 一九二五年度中ニ於ケル阿片其ノ他ノ藥品ノ沒收數量左ノ如シ

品名	數	量
阿片	二〇六、六五八瓦	
モルヒネ及其ノ鹽類	四、一六〇	

(C) 移入鹽類「コカイン」ノ數量ハ再製ノ結果二二二、三四一瓦五ナリ

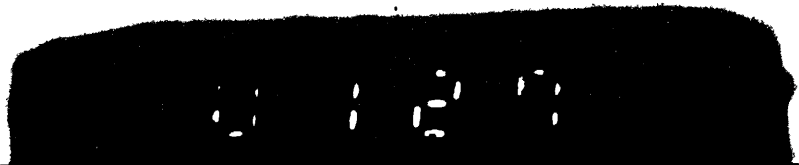
内閣

二
二

コカイン及其ノ鹽類
四九九
沒收藥品中ニハ日本藥局方ニ適合セサルモノ多シ

内
閣

研-0324



20

外務省文書課
受第 327 號
151011.

附屬書類添附

七四八

條約局

綴込名

大正十五年十月九日

内閣拓殖局長 里金 泰義

外務次官 出淵 勝次 殿

國際聯盟ニ提出スヘキ一九二五年茂阿比年報ニ關スル件

八月二十四日附条三機密第五三九號ヲ以テ御申越相成候首題ノ件ニ関シ其書總督府ヨリ別紙ニ通函答存之候ニ付右御了知相成度候也

研-0324

別紙

乙 藥品制

(一) (四) 一九二五年度生阿片ノ輸入ガ一九二四年度ニ比較シテ倍加シタル理由

右ハ主トシテ購入時期短ニ在庫関係ヨリ米タルモノニシテ即チ一九二三年度末ニ於テハ一、八六九斤七五ニシテ在庫ニ不足ヲ来ニ四年度末ニ於テハ一、二二八、八六九斤七五ニシテ在庫ニ不足ヲ来タシタルヲ以テ之ヲ補充ノ意モアリ又購入ハ各年ノ會計年度末ニ於ケル繰越残高及次年度ノ阿片烟膏製造高ニ對シ豫算関係ヲ考慮シ買付數量ヲ算出購入スルモノナルニ依リ之ヲ曆年ノ十二月末ニテ購入高ヲ示ス(阿片年報掲載ノ如ク)トキハ右ノ如ク數量ニ倍加ヲ来タスル如キ數字トナルコトアルモ之ヲ會計年度末ニテ購入高ヲ示セ

臺灣總督府

ハ左ノ如ク六十餘斤ヲ増加セルニ過キス

年度	購入高
一九二四年度 (自一九二四年四月一日起至一九二五年三月)	九七、三三九斤
一九二五年度 (自一九二五年四月一日起至一九二六年三月)	一〇三、四一三斤二五

(2) 一九二四年度末ノ生阿片ノ残高ニシテ一九二五年度ニ繰越消費セラレタル數量及一九二五年度末ノ残高

一九二四年度末残高	一九二五年度ニ繰越消費セラレタル數量	一九二五年度末残高
一、二二八、八六九斤七五	八六、七七二斤	一、一六六、三六二斤七五

(二) 阿片烟膏

一九二五年度吸食特許者數ノ減少ハ譯片ノ如シ死亡 二四九〇人

廢烟	一三九人
失踪	二九八人
計	六九七人
備考	
(一) 失踪ノ多キハ三ヶ年以上行衛不明ノ者ハ失踪ニ準シ 取扱フコト、セルカタンナリ (二) 照會、人数ニ八二七人トアルモ、二九二七人ナリ	
(三) 「モルヒネ」及「ヘロイン」移入数量尤、如シ	
塩酸モルヒネ	九、二五八五
塩酸ヘロイン	二、六一二五
モルヒネ含有製劑ノ移入尤、如シ	
品名	モルヒネ換算量
パントポン	五、四七五
ナルコポン	三、五三
ドーフル散	一、六〇九
計	六、五〇九
備考	
パントポンニハ、パントポン注射液同スエポラミン注射液ヲ 含ムナルコポン亦同シ	
(四) 醫藥阿片含有製劑ノ移入尤、如シ	
阿片下莖	一、五八七
計	一、五八七
(五) 「コカイン」	
(一) 一九二五年度コカイン生産高尤、如シ	

臺灣總督府

12¹⁴ } 24 1560 955
 13¹¹ } 41 " 123
 14¹¹ } 245 " 172

乾燥葉	七九、七二五
生葉	六三、一五五
(2)一九二五年度コカインノ移出高尾ノ如シ	二八、八三九
(3)塩酸「コカイン」ノ移出高尾ノ如シ	二四〇、二五五
備考	
照會数量ハ一九九、三四〇。凡トカルモ右ノ通りニ付御調査相煩度	
(4)「コカイン」塩ノ輸出入譯尾ノ如シ	
数量	輸出先
二五〇。凡	福州博愛醫院
二五	天部福州南台馬路 石硯醫院
五〇〇	天部後門大橋街 藥理商中成洋行馬場五十次
七五〇	天部廣東 廣米博愛醫院
六、一五二五	臺灣總督府
晨ニ提出ノ報告書ニハ輸出数量ハ〇。凡トセルモ右ノ通り御訂正相煩度	
(六)阿片條約ニ規定セル其他ノ藥品	
磷酸「コデイン」ノ移入數量	四〇、六六八
塩酸「コデイン」ノ移入數量	一、二四八
(七)一九二五年中ニ於ケル阿片及其他藥品ノ没収數量尾ノ如シ	
生阿片	六八、一一八

阿片烟膏	二六、三五二
阿片丸	一八七
塩酸コカイン	一
塩酸エルビネ	二八
其他	一五七

(ハ) 曩ニ提出年報ニコケインノ輸出脱漏ニ付左ノ通御記入

相煩度	輸	出	先
数	量	先	先

一、二五〇
二五
三七五
計 一、六五〇

支那 廣東博愛醫院
支那 福州南台馬路
支那 廈門不復街
支那 廈門中街益藥房
支那 廈門馬場五十次

支那

寫

總警第二二五二號

大正十五年十月二十六日

臺灣總督府總務長官 後藤 文夫

內閣殖殖局長 黒 金 泰 義 殿

第八回阿片諮問委員會ノ經過報告書送付
等ニ關スル件

本年九月一日附拓一第二六九九號首題ノ件ヲ以テ御照會相成候
事項別紙ノ通ニ有之候條御了知相成度此段及回答候也

内閣

研-0324

22
777

外務省文書課
受第 343 號
15.10.19.

附屬書類添附

條約局

綴込名

七四八

大正十五年十月十八日

内閣府殖産局長 里全泰



外務次官出頭 勝次 殿

國際聯盟ニ提出スルキ一九三五年度

阿比年報ニ關スル件

曩ニ御照會相成候首題ノ件ニ關シ閣下ヨリ別
紙一通同答答越ニ付御了知相成度候也

研-0324

國際聯盟ニ提出スヘキ一九二五年度阿片年報ニ
關スル質問事項

乙 藥品別

一、(四)生阿片、一九二五年度ノ輸入數ハ一九二四年度ノ數量ニ比較シ
非常ニ増加ナルカ其理由ハ一九二四年末ノ残高ニシテ一九二五年度ニ
繰越シ消費セタル數量及一九二五年末ノ残高

ハ一九二四年度阿片煙膏製造用トシテ販賣シ生阿片一七、三六九担ニ
對シ一九二五年度ハ三、三六九担ヲ販賣セタル販賣高激増理由

當州總督數ハ一九二九年閣議決定ニ依リ新ニ總督者吸煙絶對
ニ之ヲ許可セザリシモ一九二四年九月阿片令ヲ實施シ阿片制度ノ變革
シ阿片ノ不正取引密吸煙者等取締ヲ嚴重ニ爲スト同時ニ從來
ノ密吸煙者ニシテ阿片ヲ吸食スルハ身神ニ年衛ヲ保持シ

關 東 廳

能ハサル所謂上癮者ニ對シ新ニ吸食ヲ許可シタル者一九二五年
度ニ於テ僅末ノ癮者數ニ比シ約十倍ノ激増セリ従テ同年度ニ於
ケル輸入及販賣數量ニ増加ヲ來シタリ

一九二四年末ノ残高ニシテ一九二五年度ニ繰越シ消費賣シタル數量ハ一九三〇
担ニシテ一九二五年度末ノ殘高ハ八二五七担ナリ

三、(四)心丸、各藥品ノ輸入仕向地ハ日本瑞西独ニトナリ居ルハ右各國
別ノ數量

四、(四)其他ノ各別ノ品名數量並其仕向地

三四 別表ノ通

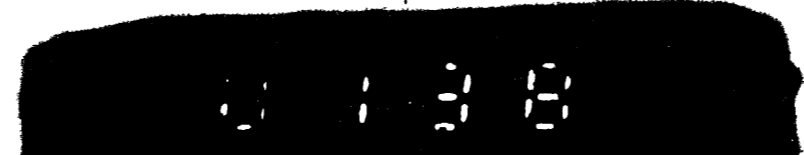
五、一九二五年度ニ於テ阿片及其他藥品沒收數量

U

輸 出 地	瑞 西	日 本	計	一九二五年中輸入計の各品名	
				数量	価額
	四一、〇〇〇。	三三、八	九、八三二八	モロシネ塩	九、八三二八
	一、〇〇〇。	一、一六〇。	一、八三六。	コカイン塩	一、八三六。
	六二五。	五六一	六、七一一	キノコ塩	六、七一一
	九二五。	六九三〇	一、六一八〇	コカイン塩	一、六一八〇
	—	五八。	五八。	オムコリン	五八。
	—	—	—	その他	—
				合計	九、八三二八

關 東 廳

研-0 3 2 4



外務省 課長 23 號
15.11. 2.

23

三
④

條約局

聯本公第 五〇五号

大正十五年十月二日

逕込名

鹿巴里

國際聯盟帝國事務局長 杉村陽太郎

外務大臣 野村浩太郎 閣下

一九二三年度 和蘭ヨリ日本へ輸出ノコカイン

ニ關スル件

本年五月開催ノ第八回國際聯盟片問委員會
ニ於テ各國ノ所片取引ノ事實ニ關シテ
一、和蘭ヨリ日本へ輸出セルコカインノ
二、五折ノコカイン、佛ニ出シ、(本年七月) 野村浩太郎
ニ送付シ、

國際聯盟帝國事務局

和蘭本公第 一六號 片問委員會
今譯送報告書一頁、及今報告書一頁、O.C.H
15 Page 46 條照(第七回) 國際聯盟片問委員會
同委員會會議(和蘭) 負ヨリ各國政府ニ調査ニ依ル
モノトシテ右コカインハ一九二三年七月及八月ノ兩回ニ一回
ノ七折半出 在コカインカ
Nederlandsche Co-
operative Alkali 在東京 高田君 會ニ 報告セル
モノトシテ 報告アリタルニ 於テ本條ニ調査ニ
ヨリ 調査 報告書ニ 送付スルニ 仰

國際聯盟帝國事務局

條約局

○

聯本公商 六六〇号

大正十五年十二月四日

福巴里

國際聯盟帝國事務局

字依美珍考

附屬書附

不在
不在

外務大臣

森喜重郎總

一九二三年七月及八月有反ニニ五件ノ「コカイ」ヲ在「ム
ニ開ニ件
一九二三年七月及八月有反ニニ五件ノ「コカイ」ヲ在「ム
スニトム市 *Nederlandsche Scheepvaart Maatschappij* ノ在在者
田者(曾見)輸出ニノ件ニ開ニ「ム」本年十月二日往信
聯本公商五〇五條ヲ以テ報告中道ニ呈シテ名度

國際聯盟帝國事務局

23.20

右輸出ハ我カ方有憲ノ輸入許可証書ニ依リ
タルト下式西側方 事同(場)紙 ヨシ海片(指)同(委)負
會(中)外(委)負、依(給)之(呈)キタルニ對シ十月十三日
付(書)願、當(右)輸入、我カ方ノ輸入許可証書ニ依(り)
以(テ)非(サ)ル旨 別紙(下)一通ノ回答ヲタルニ付 右(事)務(局)
字(印)ホ(リ)各(書)送(送)付(付)

國際聯盟帝國事務局

研-0324

OP101

REGERINGSAADVISOR II
INTERNATIONALE OPIUMAKKER

The Hague, October 1923

十月五日
附
大正五年五月
寄

Dear Mr. Kusama,

During the 8th meeting of the Opium Advisory Committee you asked me whether with regard to the quantities of cocaine exported in the months of July and August 1923 to the firm Takata & Co at Tokyo had been issued importcertificates by the Imperial Japanese Government.

I have been informed by the Inspector in Chief of our Health Service that according to a communication from the manager of the Amsterdam Cocaine factory, as far as can be ascertained at the present moment, no importcertificates have been previously submitted.

Yours sincerely,
(S). Wetlum.

M. Shiko Kusama,
P A R I S.

23, 3

要一付四

300.25361

文書課發送 昭和三十二年壹月拾五日發送済 主 管 條約局長 (印) 主任 條約局長 (起本 本年 二月 一月 十日) 機密 普通 第四 三 號 大 昭和三十二年() 日 附 附 附 通	
受信 人名 山田衛本行社長 (印)	發信 人名 栗山 (印)
件名 輸出セメントの輸入に關する件 (一九三三年度和蘭ヨリ日本へ)	名 込 綴 山田衛本行社長 (印)
宛年十一月十日 東京三番通第一〇七九番 山田衛本行 申込 急件ニ關し 在巴里 中法實業社長代理ヨリ別紙 尚一週中 阿利タルに 右何事 仰り方 示して 送付ス 公 信 案 別紙 秘本 公 示 不 示 物 宜 並 日 候 諸 事 爲 文 書 者	

文書課長 (印)

公 信 案

昭和三十二年 壹月拾五日 接 受

別 (印)

(甲 號 用 紙)

38

研-0324

23, 四

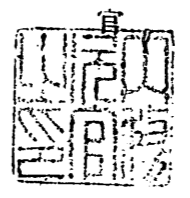
302.653211

條約局

内務省一五外衛第一七六號 昭和貳年貳月廿六日接受

昭和二年二月廿五日

川崎内務次



出淵外務次官殿

一九二三年度ノ和蘭ヨリ日本へ輸出
「ココイン」ニ關スル件

本件ニ關シ大正十五年十一月十日付條三普通一〇七九號ヲ以テ御
照會有之候ニ付直ニ調査致シ候處左記ノ通りニ有之候條此段及回
答候也

内務省

記

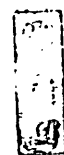
一九二三年中ニハ大正十五年十一月二日付外衛第一四五四號回答ノ通
リ和蘭ヨリノ「ココイン」ノ輸入ヲ許可シタル事實ナシ高田商會ニ對
シテハ同年中粗製ココイン二一五觔ノ獨逸ヨリノ輸入ヲ許可セリ而
シテ同商會ハ同年九月及十月中一〇七觔及一〇八觔宛二回ニ亘リ輸
入セリ從テ同年々報中本件ハ獨逸ヨリノ輸入ノ部ニ掲ケアリ

研-0324

急

密化...
...
...

24



文書課長
公 信 正 年 七 月 貳 日 發 送 済
唐澤

唐澤
正校(原稿)
附屬書
通

主 管 信 務 局 長 任 主 信 務 局 長 (起草大正十九年十一月二日)	大正十九年十一月二日附	附屬書 通	件 名 報 告 作 成 之 關 係 件	發 信 人 名 栗山泰治	受 信 人 名 黒田 稔 山田 衛生	本件ニ関シ四月(木曜日)午後三時ヨリ當省信務局長ヨリ阿片委員 會幹事會ヲ開催致シ分當省(札幌)ヨリ當省及札幌 地(札幌)側ヨリ信務局長ヨリ阿片委員 會幹事會ニ出席スルノ旨ヲ指示シ 廣 柳 昭 一 氏 へ
----------------------------------------------------	-------------	----------	------------------------	-----------------	--------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

公 信 案
外 務 省

研-0324

公文信案

文書課長 櫻

大正十五年七月拾日 發

33

甲號用紙

文書課發送

正校(原稿)

管

主 條約局長

任 條約第三課長

大正十五年七月九日

普通第 〇七九 號

大正 年

五月二十日

附屬書 通

受信 川崎 治 完

人名 川崎 治 完

發信 川崎 治 完

件名 一九三三年後和蘭ヨリ日本(輸出)ノカンレツノ關スル件

級 達 名

六月十日付外衛第五四御一ヲ以テ仰回報(中) (四)

ニ關シ在巴里杉村局長ヨリ別紙函一通申越アリタル事

詳細右ニ仰承知上本件一應 調査一上 結

公文信案

外務省

要

28
要
日
再

乙號用紙(國)

果何分致書急仰回報相成ノ後

別紙(別添杉村局長未信前本分即五ノ御旨)

外務省

研-0324

第三卷

10884
(附)
26

巴里卷

本館蔵 文庫十五

無名外教

巴里卷

第九回阿比西尼亞問題
ヨリ内催、百聯盟事、
一九二五年一月十一日

一九二五年一月十一日
阿比西尼亞問題
ヨリ内催、百聯盟事、
一九二五年一月十一日

研-0324

可分報

秘

塩酸 コカインノ取締

我國ニ於ケルコカインノ塩類ノ製造ハ大正六年星製藥株式会社
ノ製造ヲ以テ嚆矢トナス次テ大阪ノ武田製藥株式会社東京内
國製藥株式會社(大正九年九月三共株式會社ニ合併セリ)等漸次
其ノ製造ヲ開始スルニ至レリ而シテコカインノ塩ノ取締ハ大正三年八月
内務省令第十八號ノ規定ヲ利用シテ之カ輸送ニ制限ヲ加ヘタルニ
始メレリ同省令ハモト内地医薬品ノ海外流送ヲ防ク為ニ設ケラレ
タルモノニシテ其輸入製造授受ニ就テハ何等取締規定ナク
又コカイン含有製劑及コカイン製造原料ニ就テハ何等規定ナカリシ
ヲ以テ大正九年十二月内務省令第四十一號ヲ公布シ翌年一月一日ヨリ
施行シ同時ニ大正三年内務省令第十八號ハ之ヲ廢止セリ次テ
省令第四十一號ハ大正十年一月改正シ其ノ第十二條第一項「コカイン
ノ下ニ、エタゴニン」(コカイン製造原料トシテ用ヒラル)ヲ加ヘテリ

コカインノ塩ノ製造原料タルコカ葉、粗製コカイン及「エタゴニン」ハ
内地需要見込數量ヲ製造スルニ必要ナル數量ヲ限度トシテ輸
入ヲ許可スルトナシ大正十年下半年期ニ於テ當時現ニコカイン
塩ノ製造ヲナシ市場ニ製品ヲ出シツアルモノニシテ相當信用アル
左記五會社ニ就キ實際ノ製造状況及製造能力等ノ調
査ヲ遂ケ之ニ基キ其ノ原料割当量ヲ定メ是等製造會社使
用モノニ限リ許可スルトセリ
其ノ原料割当量及大正六年以來ノ内地製造數量ハ別紙
甲類及乙類ノ如シ

甲類

會社名	豫定数量	製品ニ換算
星製藥株式会社	粗製カカイン 二九九七一四 精製カカイン 六三三一〇	一〇四九
江東製藥株式会社	三五九七一四 六七九八	一二五九
武田製藥株式会社	二〇七七一四 一六一六	七二七
三共製藥株式会社	一四七一四 八一四四	五一五
塩野義商店 (塩野製菓所)	五七一四 四四四	二〇〇

東亜化学工業株式会社ニ對シテ大正十一年ヨリ向フ三年間
毎年粗製カカイン、五五五封度(製品換算ニ五〇ポド)ノ輸入
ヲ與ヘタリ

換算率ハコカ葉〇.三五〇〇 粗製カカイン 四五〇〇 エラニン 五五〇〇

乙類

製造数量

年別	数量
大正六年	一五〇七
大正七年	二二九四
大正八年	一八三九
大正九年	三九九九
大正十年	五一六六
大正十一年	八〇一三

江東製藥株式会社、大正十年五月東京衛生試験所、
火災ノ際小分ヲ為メ試験所倉庫ニ入庫中ノ製品塩酸ニカ
イン 三七五のオンス(二三五ポド)ヲ焼失シタリ 依テ特ニ之ガ補充
トシテコカ葉二十六屯輸入許可セリ

秘

「コカイン」鹽ノ製造原料ノ輸入許可數量漸減ニ
關スル件

大正十五年十一月十日

一 鹽酸「コカイン」ノ取締

大正六年星製藥會社カ「コカイン」鹽類ノ製造ヲ開始シ、大阪ノ武
田製藥會社、東京内國製藥株式會社（大正九年九月三共株式會社ニ
合併）等漸次其ノ製造ヲ爲スニ至レリ

「コカイン」鹽ノ取締ニ付テハ大正三年八月内務省令第十八號ノ規
定ニ依リ其ノ輸出ニ制限ヲ加ヘタルニ初ル。

然レトモ同省ハ内地醫藥品ノ海外流出ヲ防ク爲ノ取締ニシテ其ノ輸
入、製造、授受ニ關シテハ何等ノ取締規定ナク又「コカイン」含有

(赤 梓 紙)

外 務 省

(赤 梓 紙)

製劑及「コカイン」鹽ノ製造原料ニ付テモ同様未タ取締規定ナカリ
シカ「ヘーク」國際阿片條約實施ノ結果大正九年十二月内務省令第
四十一號ヲ公布シ十年一月一日ヨリ施行シ（大正三年内務省令第十
八號ヲ廢止ス）大正十一年一月同省令ヲ改正シ同省令第十二條第一
項「コデイン」ノ下ニ「エクゴニン」（「コカイン」製造原料トシ
テ用キラル）ヲ追加セリ

二 「コカイン」鹽ノ製造原料ノ取締

内務省ニ於テハ「コカイン」鹽ノ製造原料タル「コカ」葉、粗製「
コカイン」及「エクゴニン」ノ輸入許可ニ關シテハ内地ノ需要見込
數量ヲ製造スルニ必要ナル數量ヲ限度トシテ其ノ製造原料ノ輸入ヲ
許可スルコトニ決定シ大正十年下半年ニ於テ當時現ニ「コカイン」

外 務 省

(赤 梓 紙)

鹽ヲ製造シ市場ニ製品ヲ出シ居レル相當信用アル星、江東、武田、三共ノ各製藥株式會社及鹽野義商店ニ付其ノ實際ノ製造狀況及製造能力等ノ調査ヲ遂ケタル上其ノ毎年ノ輸入原料ノ割當額ヲ決定シ前記五會社ノ使用ノモノニ限り毎年ノ使用原料ノ輸入ヲ許可シ今日ニ至レリ

三 「コカイン」鹽ノ製造數量

(イ) 前記五會社ノ「コカイン」鹽ノ製造總數量左ノ如シ

大正十年	三三二四・七〇〇
大正十一年	三六七〇・四九九
大正十二年	三三一三・六二〇
大正十三年	四三八四・一五八

外 務 省

(赤 梓 紙)

大正十四年 三二一七・三九〇

註、大正十三年及大正十四年度ニ於テ聯盟ニ提出シ又ハ提出

スヘキ數字ハ輸入原料ヲ輸入原料割當當初ノ換算率ニ依

ル數字(一四七九・四〇四 大正十三年及一五九四・三二

一、大正十四年)ヲ掲ケタルカ故ニ實際ノ製造數量ト符

合セス

而シテ各會社ノ輸入許可數量カ毎年同一ナルニ拘ラス其ノ製造數量カ毎年遞増セル所以ハ技術ノ發達ニ依リ其ノ得量ノ増加(「コカイン」抽出率)ノ結果自然其ノ出產額ニ於テ増加スルニ基クモノナリ

(ロ) 當初各會社ニ原料割當ノ際ハ内地ノ需要見込數量ヲ標準トシ

外 務 省

(赤 梓 紙)

右數量ノ製造ニ必要ナル原料ノ輸入許可數量ヲ決定シタルカ其ノ後技術ノ發達ニ依リ今日ニテハ許可當時ノ換算率(「コカ」葉 \approx 五%粗製「コカイン」 \approx 五%「エクゴニン」 \approx 五%)ハ著シク増加セルコトハ前記毎年ノ製造數量ノ増加ノ割合ニ徴シテ明カナリ

- (イ) 國際聯盟ニテ調査セル麻藥類ノ一國ノ正當需要^量ハ人口一人當ノ見積リセ「ミリグラム」ナルカ我國ノ「コカイン」ノ製造數量ヲ内地ノミノ人口ニ割當ツレハ一人當 \approx 四「ミリグラム」殖民地ヲ合シテ計算スルトモ尙ニ「ミリグラム」ニ上ル
- (ニ) 國際聯盟ニ提出セラルル各國ノ年報ヲ見ルニ「モルヒネ」「ヘロイン」及「コカイン」ノ國內使用ニ充テラルヘキ數量(輸

外 務 省

(赤 梓 紙)

入數量ニ製造數量ヲ加ヘタルモノヨリ輸出數量ヲ控除シタル殘額)ニシテ毎年各千「キログラム」以上ニ上ルモノハ米國ノ「コカイン」ヲ除キ獨リ我國アルノミ而モ我國ノ「コカイン」ノ製造數量ハ之ヲ他國ニ比較シ著シク多量ナルコトハ常ニ各國ノ注意スル所ナリ

- 四 「コカイン」鹽ノ製造原料ノ輸入許可數量漸減ノ必要
- 國際聯盟ノ調査ニ係ル麻藥類ノ正當需要量一人當七「ミリグラム」ナル見積數量ハ我國力之ヲ承認シタル次第ニハアラサレトモ(一)前記ノ輸入原料割當ノ經過ニ鑑ミ又(二)各國ノ年報ニ對照スルトキハ我國ノ「コカイン」鹽ノ製造數量カ著シク多量ニ上ルコトハ疑ナキ所ナリ

外 務 省

(赤 梓 紙)

然レトモ如何ナル程度迄其ノ製造數量ヲ制限スヘキニ關シテハ製藥
會社ノ關係モアリ頗ル「デリケート」ナル問題ナルカ

(1) 國際聯盟ニ提出スヘキ年報中ノ「コカイン」ノ製造數量ハ原
料ノ輸入許可當初ノ換算率(得量)ニ依リ計算スルコト

(2) 右換算率カ大體今日ノ技術上シテ殆ト倍加スルニ近キコトニ
鑑ミ

(3) 現在ノ生産數量ヲ半減スルトモ我國ノ内地需要量ニハ大體支
障ナカルヘク

(4) 而シテ生産數量ノ半減ハ輸入原料ノ許可數量ノ半減ニ依リ其
ノ目的ヲ達シ得ヘシ

(5) 然レトモ今日突然其ノ輸入原料許可^{數量}原料ノ半減ヲ斷行スルコ

外 務 省

(赤 梓 紙)

トハ製藥會社ニ取り一大打撃ナルニ付漸次其ノ原料ノ輸入ニ制
限ヲ加ヘ結局半減ノ程度ニ及ホスヲ適當トスヘシ

五 麻藥類ノ問題カ近來特ニ國際聯盟ニ於テ重要視セラレツツアル
次第ハ第八回阿片諮問委員會及第七回聯盟總會ニ於ケル論議ニ徴
シ明ナルカ本問題ニ關スル帝國ノ國際的立場ハ今後益々困難ニ陷
ルヘク將又(一)我國ノ製藥會社ノ製品タル密輸「コカイン」カ屢海
外ニ於テ押收セラルルコト及(二)聯盟ニ提出スル年報ノ數字ヲ實際
ノ製造數量ニ合致セシムル必要上此際前記ノ趣旨ニ依リ原料ノ輸
入許可數量ノ減少ヲ實行セサルヘカラス

外 務 省

26
外務省文書課
第 323 號
15116.

附屬書類添付

二六九九號

條約局

綴込名

Handwritten signature

大正十五年七月六日

内閣拓殖局長里金泰義



外務次官出淵勝次殿

第八回阿片諮問委員會議ノ経過報告書

送付等ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ八月二十日附条三機密第五四五號ヲ以テ御申越ノ處右ハ別紙等ニ歸シ御承知相成度此段及回答候也

内閣

別紙

一、臺灣總督府ノ年報中輸入表ニ現ハシタル生阿片ノ仕向地ノ件

本件阿片ハ當府專賣局ニ於テサミユル商會臺北支店ヲシテ納入セシメタルモノニシテ同商會カ仕入地「ロンドン」ト申告セルニ依リ輸出國英吉利西トナセルモノナリ然ルニ果シテ英吉利西ヨリ輸出シタルモノニアラストセハ取引地ト仕出地トヲ混同セル取扱上ノ誤謬ニ因レルモノト存スルモ同商會臺北支店ハ其ノ後廢止セラレタルタメ詳細ノ取調不能ノ状態トナリタルニ付該數量ノ阿片カ何レカノ國ノ輸出統計ニ掲載セラルヘキ筈ナリ

二、コカ葉栽培ニ關スル件

本件ハ委員會ニ於ケル説明ノ如ク其ノ當時尙試驗的ノ時代ニアリテ生産量ノ如キモ統計ナシ然ルニ漸ク其成績良好ニ趨キ將來

内
閣

頗ル有望ニ付遊テ其ノ統計ヲ作製セリ左ノ如シ

年次	生産量	使用	移出
一九二三	乾 五、四、三五六	コ 一、七、一八	四 二、六三八
一九二四	八、五、六三〇	三、八、〇〇二	四、七、六二八

備考 本表ハ概數ヲ示スモノニシテ一九二二年以前ハ調査不能ナリ

三、臺灣ニ輸入ノ「ヘロイン」ニ關スル件

本件質問ノ意味不明ナルモ當該年度ニ於テ臺灣ニハ輸入ナキヲ以テ輸入ハ移入ノ意ナルヘク而シテ一九二二年度ノ移入數カ年報ニ掲載セラレスシテ一九二三年度ニハ掲載セラレタルタメ一九二三年度ノ移入數カ多量ナリト云フ意カ又ハ單ニ一九二三年度ノ需要量カ多量ナリト云フ意ナルヘシ果シテ然リトセハ一九二二年度ノ移入數カ一六、七、四三ニシテ一九二二、三年

内
閣

度ノ消費量ハ當該年報記載ノ如シ

四、星ノ阿片事件ニ關スル件

本件ニ關スル控訴審ノ内容ハ彙ニ通報ノ通ニシテ九月十四日高等法院上告部ニ於テ各被告ハ無罪ノ判決アリ其内容別紙ノ如シ

寫

衛文第三二五九號

大正十五年九月九日

朝鮮總督府 政務總監

內閣 拓殖局長 殿

第八回阿片諮問委員會ノ經過報告書ニ

關スル件

九月一日附拓一第二六九九號ヲ以テ御照會相成候首題ノ件ハ左記ノ通ニ有之候條及回答候也

記

一 朝鮮ニ於ケル生阿片ノ産額ニ關スル印度委員ノ質問

朝鮮ニ於テハ目下咸鏡南北道及黃海道等ノ奥地ナル高原地帯

内閣

内閣

罌粟ノ栽培阿片ノ製造ヲ許可セリ之等ノ地方ハ氣候寒冷ニシテ主トシテ高山植物ヲ産シ農産物ノ如キモ燕麥又ハ馬鈴薯ノ外何等ノ生産ナキ地方ニシテ罌粟ノ生育甚不良ナルヲ以テ阿片ハ年報記載ノ如ク其ノ産額僅少ニシテ到底印度等ノ生産額ニ及ハス

殊ニ最近數年來旱魃及水害交々至リ産額甚ク減少セリ

二 其ノ他本報告中朝鮮總督府ニ關係アル事項ナシ



關衛第一三五四七號ノ二

大正十五年十月二十一日

關東長官伯爵 兒玉秀雄

内閣拓殖局長 黒金泰義 殿

第八回阿片諮問委員會ノ經過報告書送付
等ニ關スル件

九月一日拓一第二六九九號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件左記ノ通
ニ有之候條及回答候也

記

一、大連ニ於ケル麻薬類不正取引ニ關スル件
麻薬類ノ不正取引ニ關シ極力之カ取締ヲ勵行ス殊ニ大連ニ於ケ

内閣

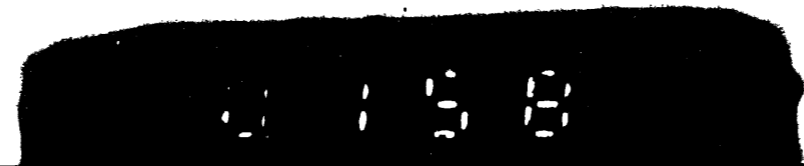
内閣

ル密輸入ノ檢舉ハ最モ俊嚴ニ之ヲ爲シ現品ヲ發見押收シ相當ノ
成績ヲ擧ケツツアルモ犯人ヲ檢舉スルコト少キハ當方ニ於テモ
遺憾トスル處ナリ近來密輸入ノ方法ハ頗ル巧妙ヲ極メ船荷證券
ニ依リ轉々賣買シ證券記載ノ荷受人實在セス現品ハ埠頭倉庫ニ
置キ容器其ノ他ノ記載モ普通品ノ如ク裝ヒ搜查ノ手懸ヲ困難ナ
ラシムルモノアルモ一層最善ノ方法ヲ講スルコトニ努力スヘシ
密輸入ニ對スル英國側ノ情報ハ常ニ物件ニ對スルモノノミニシ
テ犯人及其ノ關係者ニ關スル情報ヲ缺キ搜查上困難ヲ感スル處
ナルヲ以テ之等ニ對スル情報ヲ得ルコトニ致シ度シ
二、鈴木商店大連支店カ阿片ノ密輸入ニ關係セリトノ風説ノ眞僞
當廳管内ニ於テ鈴木商店大連支店カ阿片ノ密輸入ニ關係シタル
コトナシ
客年新聞雜誌等ニ同支店ノ阿片不正事件ヲ記載シタルモ右ハ同

内閣

支店ヲ解雇セラレタルモノノ中傷ニシテ調査ノ結果事實無根ナ
リキ
三、大連ニ於ケル藥劑師又ハ藥種商ニ非サル *Kragh*ニ發給セル麻藥輸入
許可證ノ件
外國人ニ對シ麻藥類ノ輸入ヲ許可シタルモノナシ從テ客年五月
大連在住 *Kragh*ナル者ニ大連警察署ニ於テ鹽酸モルヒネ及鹽酸ヘロ
インノ輸入許可證ヲ發給セリト云フモ右ノ事實ナク何等カノ間
違ナルヘシ

研-0324



27

電送第 7818 號
15年11月29日 5時0分發

電 信 案	外 務 省	貴電聯第百八十一號	年報二十五日西比利亞人送付 書類及第九回審算會資料 毛丈々送付	在巴里 宇佐美行長代	件	管主
					發	任主
					件 在巴里 宇佐美行長代	條約局長 任主 條約第三課長 (起草大正十五年十一月九日)
					發 歸部 名込綴 歸部	
		第一八七號				

電信課長

11

電信案

(原議用紙甲) 國書

研-0324

公 信 案

文書課長(印)

文書課發送

大正陸海軍省 陸軍部 陸軍省

淨書

正(原稿)

60 (甲號用紙)

次

傷

主 管 條約局長(印)

任 主 條約第三課長

(起草大正十五年十一月五日)

機密第一

號 大正

年 陸海軍省

附

附屬書

通

通商局長

受 信 在巴里

人 名 中佐美子長代

發 信 人 名

幣 弟 七

件 名

一九二五年被阿片年報
送付一冊ニ付

名 込 綴

各圖保衛廳ヨリ提出アリタル
別紙甲抄寫一九二五年被阿片年報原本ニ基キ省改

阿片委員會幹事會ニ於テ別紙乙抄寫ノ
通 作成一上 本月十九日阿片及麻葉類ニ関

年報ヲ
外 務 省

公 信 案

外 務 省

28

要再回

至急要領
便知案迄
了致

(乙號用紙) 圓指

スル委員會ニ提出シ專一途 決定シ各府左 部	各省並譯文一冊 送付ス	此等年報作成ノ方針及其他 注意ス(オオ事)	項加記一途 看 委細 右ニ申 承知相成	被 又七月九日阿片本分第七〇 抄ヲ以テ申 送付	越一清白アリテ 諸委員會報告書ニ関シテ 別	ニ申 送付ス
-----------------------	-------------	-----------------------	---------------------	-------------------------	-----------------------	--------

外 務 省

研-0324

(乙 號用紙) 圓柄

第一 年報作成方針

一九二五年度年報は十月四日閣議決定の「省政阿片委員会」の幹事會の同議の結果大体一九二四年度年報作成の方針を基として作成せられたる要旨を左に述

一 移入関係の数量

二 内収消費量の用たる数字

三 燐酸コパイールの数量

外務省

(乙 號用紙) 圓柄

四 関東廳及台湾總督府の煙膏抽下品の収入
五 備考

著したる總て其の記載を省略

六 塩酸コパイールの製造数量、輸入せられたる原料及び
得率の収入計算

七 法令違反に対する起訴事件数、八 内地、九 朝鮮、一〇 阿片取締
省側、統制収入、二 朝鮮、三 阿片取締

外務省

合及漢品官業の締令ニ違反シタルモノハ限リ(ハ)関東
 州一部ニ州外ニ関スル統計ヲ削除セリ
 (8)高田東州一部ノ阿片煙膏ノ消費量ノ激増
 阿片令ノ結果 調査シタル結果 癮者ノ数増加(年
 報4 吸食者登記大算参照)ニ基クモノナルハ本件
 ニ関シ警固ナル場合ニシテ密取リ取締嚴重ノ結果
 依リ州内ニ在リテ需要ノ増加ハ原因スル旨ヲ可

(乙) 號用紙(圍納)

外務省

~~然~~ 說明スルナド
 (8) 朝鮮一部ノコルク製造中ノ粗製コルク
 五三三(四)年報原本参照)ニ之ヲ年報中ニ掲
 載セズ(台湾ノ粗製コルクヲ年報ニ掲載セサル關係
 上朝鮮一部ニ在リテ粗製コルクトシテノ数字
 ヲ記載セサルニ趣旨ナリ)ニテ之ヲ仕裁品トシテ
 増同アリト場合ニシ

(乙) 號用紙(圍納)

外務省

說明スルナド

5

(乙 號用紙) 園崎

註 朝鮮總督府より提出し年報中「モルヒネ」製
 造に於て使用せられたる阿片「一三四・五四一」ニシテ製造
 高硫酸「モルヒネ」一三〇・五三、粗製「モルヒネ」五一三・K
 五二四ナルカ右粗製「モルヒネ」中ニ「前年」仕
 裁品ノ繰越高四〇四・七七五「硫酸「モルヒネ」」ヲ
 含ニ實際十四年度中ニ於ケル仕裁品ハ塩
 酸「モルヒネ」トシテ「一〇八・七四九」ナリ右如合意ニ申
 添ニ

外務省

6

(乙 號用紙) 園崎

第一 其 他ノ事項友ノ通
 (1) 日本内地ノ却ノ粗製「モルヒネ」ノ輸入数量中独
 逸より輸入せられたる粗製「モルヒネ」二〇・〇〇〇一ト記載ヲ有
 明。右ノ特別ノ事情ニ依リ大正十三年度迄「モルヒネ」
 鹽ノ製造ヲ許可せられたる粟谷實雄十四年以前ノ
 許可書ニ基テ輸入せられたるモノナルニ付一九二五年
 年度中ニ右数量ヲ掲げられタルト、セリ

外務省

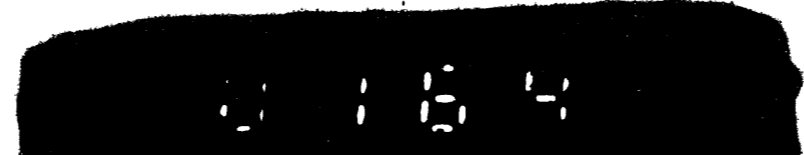
研-0324

7

(乙 號用紙) 園枳

<p>(乙) 日本内地ノ一部 (丙) エルヒネニ 輸入中ノ備考ハ左ノ如ク 輸出スル所ニ輸入ノ許可シタルモノナルニ付 年報中</p>	<p>ニ掲載ノ見合ナリ 若シ 貿易同アリ 可然 年報中</p>	<p>置カレ枝シ今後以テ種ノ輸入ヲ許可セサルニトシ 決定シタル次第ニ本年三月十日付 検査ノ二五ノ御 ヲ以テ申進レタレ通ナリ</p>	<p>別添 検査ノ二五ノ御 外務省</p>
-----------------------------------------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------------------------------------------------	---------------------------

研-0324



一九二五年度阿片並有害藥品ノ取引ニ關スル年報（内地）

甲一 般

(一) 新ニ法律、規則ノ公布セラレタルモノナシ

行政上ノ措置トシテハ阿片其他ノ有害ナル藥品類取締ノ術ニ當ル
地方技術官ヲ召集シ取締ノ勵行ニ付協議シタリ

(二) 輸出入取締

輸入許可ニ際シ輸入許可證ト共ニ英文輸入許可證明書ヲ發給スル
シテ右制度實施上別ニ困難ナル事情ナシ

輸入證明書制度ヲ未タ實施セサル國トノ取引ニ際シテハ之ヲ實施
セル國ト否トヲ問ハス輸入ニ際シテハ英文輸入許可證明書ヲ發給
シ輸出ニ關シテハ輸入國官憲ノ認證アルモノニ就キ審査ノ上許可

ヲ與ヘ居レリ

(三) 有害藥品ノ製造、販賣、分配、使用等ニ關スル國內取締ノ狀況

本邦内地ニ於テハ藥品使用等ノ傳播ナシ尙耳。見 實施ニ關シ

テハ一九二一年度ノ年報記載ノ通取締ノ進行ニ注意、又密輸出ノ

禁遏ニ努メ居レリ

一九二五年中法令ニ違反シテ起訴セラレタル犯罪起訴事件數ハ六

十七件ナリ

(2012年11月) 一九二五年度、不潔所數四一件
一九二五年度、犯罪人數四七名
一九二五年度、犯罪人姓名、七十四人

乙種品別

(四) 生阿片

(a) 生産

罂粟栽培地面積 四七七四二・三
 生産數量 三六一三・三六三
 モルヒネ平均含有量 一三%八四六八
 アール 町反敵、歩
 (四八一、三〇〇・〇六)

(b) 輸入

數量	種類	輸出港	輸入港
四四七・八九〇〇 ^K	土耳其	ボートサイド	横濱
一一二一・四六〇〇		コンスタンチノープル	
三三八四・五〇〇		マルセイユ	

合計 一〇〇三、一〇〇〇

八七三、〇〇〇

スミルナ

(c) 製造用ニ使用セラレタル數量

- (1) 「モルヒネ」、「ヘロイン」、「デオニン」及類似「コヂイン」ノ製造ニ使用シタル阿片 一六六三・六五七六^K
- (2) 醫藥用阿片製造ニ使用シタル阿片 一〇一八・三九一^K
- (3) 「ナルコボン」其ノ他ノ製造ニ使用シタル阿片 三三三・八四一^K

(a) 製造用以外ニ使用セラレタルモノナシ

(b) 生阿片ノ輸出ハ許可セス

(四) 阿片運管

一九二二年報記載ノ通り

(丙) モルヒネ

(2) 輸入

(1) 「モルヒネ」鹽ノ輸入ナシ

(2) 「モルヒネ」含有製劑輸入數量

薬品名	「モルヒネ」換算量	仕出箇
「バントボン」 粉末	五〇〇〇〇	瑞 國
「バントボン」 注射液	〇。八八〇	、
「スパースマルギ ン」粉末	一。一五〇	、
「ジユポバン」	〇。五〇〇	、

合 計

七。五〇〇

(b) 製造

製造工場名	所在地	モルヒネ製造高	モルヒネ換算量
三共株式会社	東京	三、四一〇。五二七	三、五九〇。五六〇
星製薬株式会社	、	一、〇三八。三〇二	一、一八九。一〇九
大日本製薬株式会社	大阪	五、一三三。八三三	三、九〇〇。四九七
合 計	、	九、五八一。一六〇	一、六七五。一六五

(c) 輸出

(1) 鹽酸「モルヒネ」ノ輸出數量

數量	仕向地
一。四六一	支 那

合計 〇・〇五二 K
〇・五二二

關東州

(2) 「モルヒネ」含有製劑輸出數量

品名	「モルヒネ」換算量	仕向地
鹽酸「モルヒネ」注射液	〇・〇〇五八 K	支那
「バントボン」末	〇・〇〇〇五五	關東州
液	〇・〇〇〇五五	支那
注射液	〇・〇〇〇五五	關東州
「バントボンスコポロアミン」注射液	〇・〇〇一八八	支那
注射液	〇・〇〇一八八	支那
注射液	〇・〇〇一八八	支那

(d) 「モルヒネ」ヲ使用シ又ハ所持シ得ル者ハ一九二二年年報記載ノ通

「ナルコボン」末	〇・〇〇四七五	支那
「ナルコボン」注射液	〇・〇〇四七五	支那
「ナルコボンスコポロアミン」注射液	〇・〇〇一七一	支那
「ラウダノン」注射液	〇・〇〇〇一六	關東州
液	〇・〇〇〇一六	支那
合計	〇・〇二五九六 K	

(2) 輸入
(七) ヘロイン

(1) 「ヘロイン」鹽ノ輸入ナシ

(2) 「ヘロイン」含有製劑ノ輸入ナシ

(b) 製造

製造工場名所在地 「ヘロイン」鹽製造數量 「モルヒネ」換算量

大日本製藥株式会社 大阪 一四一・七五〇 九四・六七五

(c) 輸出

(1) 鹽酸「ヘロイン」輸出數量

數量 仕向地

〇・七九五 支那

〇・二五〇〇 關東州

合計 一・〇四五

(2) 「ヘロイン」含有製劑ノ輸出ナシ

(a) 醫藥用阿片

(a) 輸入

(1) 輸入ナシ

(2) 醫藥用阿片含有製劑ノ輸入數量

品名	醫藥用阿片換算量	「モルヒネ」換算量	仕出地
「ドーフル」散	二四、九八五	二二、四九六	獨 國
阿片丁鹽	一五八、七六〇	一五、八七六	英 國
	二六八、九〇五	二六、八九〇	佛 國
	一一〇、七〇〇	一一、〇七〇	瑞 西
合 計	七六三、〇五〇	七六、三三〇	

研-0324

(a) 製造

製造所名所在地製造数量
「モルヒネ」換算量

内務省
大阪衛生試験所大阪
1,141,000
1,141,000

(b) 輸出

(1) 醫藥用阿片ノ輸出ナシ

(2) 醫藥用阿片含有製劑ノ輸出數量

品名	醫藥用阿片換算量	「モルヒネ」換算量	仕向地
「ドーフル」散	5,963.5	0,596.35	支那
「片丁幾」	5,312.5	0,531.25	支那
阿片芳香酒	0,045.0	0,045.0	
合計	11,321.0	1,173.6	

(d) 「モルヒネ」ノ項ニ記載スル所ニ同シ

(a) コカイン

(2) コカ樹ノ栽培者ナシ

(b) 輸出

(1) 粗製「コカイン」ノ輸出ナシ

(2) 鹽酸「コカイン」ノ輸出數量

數量	仕向地
3,495	支那
0,135	關東州
合計 3,630	

(c) 輸入

研-0324

(1) 粗製「コカイン」ノ輸入數量

數量	仕出地
100,000 K	獨逸
458,962	露露
合計 558,962	

(2) 鹽酸「コカイン」ノ輸入ナシ
 (3) 「コカイン」含有製劑ノ輸入ナシ

(d) 製造

製造工場名	所在地	「コカイン」鹽製造高	「コカイン」換算量
江東製藥株式会社	東京	571,071 K	508,255 K
星製藥株式会社		380,113	328,389

三共株式会社	東京	219,031 K	195,191 K
武田製藥株式会社	大阪	529,021	292,828
神戶藥商店製藥所		94,071	82,284
合計		842,123 K	596,303 K

(d) 「モルヒネ」ノ項ニ記載スル所ニ同シ
 (e) 阿片條約ニ規定スル其他ノ藥品

(a) 製造

藥品名	製造工場名	所在地	製造數量	「モルヒネ」換算量
ナルコボン	ラヂウム製藥株式会社	東京	56,401 K	28,200 K
アロボン	大日本製藥株式会社		4,839	1,792
鹽酸エチール	大日本製藥株式会社		2,600	1,300
モルヒネ			63,840 K	31,292 K
合計			67,679 K	31,292 K

研-0324

(b) 輸入

韓戰「エチールモルヒネ」^K・〇〇〇ニシテ其ノ仕出地ハ英國ナリ

(c) 輸出

韓戰「エチールモルヒネ」^K・三〇五ニシテ其ノ仕向地ハ支那ナリ

(d) 「モルヒネ」ノ項ニ記載スル所ニ同シ

特ニ記載スヘキ事項ナシ

一九二五年度阿片並有害藥品ノ取引ニ關スル年報（朝鮮）
甲 一般

(一) 大正十四年中公布セラレタル法律、規則

朝鮮ニ於テハ大正八年以來一定ノ地域ヲ指定シテ阿片ノ製造ヲ許
可シ製造シタル阿片ハ政府ノ專賣ト爲シ悉ク朝鮮總督府ニ收納シ
「モルヒネ」其ノ他ノ阿片「アルカロイド」ヲ製造スル場合ニ限
リ本府ノ指定シタル製藥者ニ賣下クルコトトセシカ大正十三年行
政整理ノ際舊工ノ制度ヲ廢止シタルヲ以テ專賣以外ノ方法ニ依リ
之カ取締ノ徹底ヲ期セムカ爲大正十四年七月二十九日制令第一號
及府令第七十七號ヲ以テ朝鮮阿片取締施行規則及朝鮮阿片取締令
ヲ改正シ製造シタル阿片ハ指定ノ期日迄ニ必本府ニ提出セシメ本

府ニ於テ之ガ鑑定ヲ爲シタル後一定ノ價格ニ依リ購置者ノ指定
シタル製造者ニ販賣セシメ現品ノ取引ヲ了スル迄本府之カ保管
責ニ任スルコトトセリ而シテ阿片ノ提出ヲ爲ササル者ニ對シテハ
二年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ヲ科セラルルモノトス

(二) 出入取締

阿片及阿片類膏ハ總督ニ輸入ヲ認メス其ノ他ノ製造ニ關テモ當分
ノ内其ノ輸入ヲ許可セサルカ針ニシテ目下朝鮮内ニ於ケル醫藥用
及學術用ニ使用セラルル數量ノミニニ對シ得カニ移入ヲ許可セルニ
過キス

(三) 有害物品ノ製造、販賣、分配及使用等ニ關スル國內取締狀況一覽

國內取締ハ阿片ノ製造ニ關シテハ一定ノ區域ヲ指定シテ適當ナル

者ニ之ヲ許可スルコトトシ乳液ノ採取、阿片ノ製造ニ當リテハ特
ニ警察官吏ヲシテ之カ取締ヲ任ニ當ラシメ製造シタル阿片ハ指定
ノ期日迄ニ全部本府ニ提出セシメ更ニ第一項ニ記載シタル通本府
ニ於テ其ノ用途ヲ爲シ指定製造者ニ販賣セシメ取引ヲ了スル迄本
府ニ於テ之ヲ保管シ以テ不正ノ販賣及使用ノ虞ナカラシム而シテ
製造業者ヲシテ右阿片ヲ「モルヒネ」其ノ他ノ阿片「アルカロイ
ド」等ハ其ノ製造者又ハ製品ノ製造ニ供セシメ尙右阿片ハ總督ニ
提出シ又ハ購受クルコトヲ得サラシム而シテ本年度ニ於テハ製造シ
タル阿片ヲ販賣スヘキ製造者トシテ大正製煙會社一社ヲ指定セリ
其ノ他製造者ノ販賣、分配及使用ニ關スル取締法ノ實施ニ關シテ
ハ一九二〇年度年報記載ノ通取締ノ進行ニ對シ又當分輸入ノ製造

ニ勞メ居レリ

一九二五年中阿片及鴉片類ニ關スル法令ニ違反シ檢査セラレタル
件數六八百三十件ニシテ其ノ犯罪人員ハ千二百二十三ナリ

乙 藥品別

生阿片

(a) 生産

罂粟栽培地面積 生産額
モルヒネ含有率
二四八六〇アール七四六・五九六 一一%〇四〇〇

(b) 輸入ナシ

(c) 製造用ニ使用セラレタル生阿片ノ數量及種類ヲ擧クレハ左表ノ
如シ

製造用阿片使用量

種類	數量	種類	數量
モルヒネ	罂粟用阿片	其ノ他ノ膏	

朝鮮産
生阿片 二二四・五二一 K

朝鮮産
生阿片 一四・九一二 K

(d) 製薬用以外ニ使用セラレケルモノナシ

(e) 輸出ナシ

(四) 阿片煙膏

(a) 阿片煙ノ吸食ハ朝鮮ニ於テハ絕對ニ禁止シ居レリ

(b) 吸煙ニ關スル檢舉件數六十七件處罰人員百五人ナリ

(六) 「モルヒネ」

(a) 輸入 本年中輸入セシモノナシ

(b) 製造

「モルヒネ」塩製造高

製造工場 所有者	同所在地	品名	製造 數量
大正製薬 株式會社	京 道 高陽郡	塩酸「モルヒネ」	一三・〇五三

(c) 輸出

塩酸「モルヒネ」〇・〇七〇 「モルヒネ」含有製劑〇・四九五二モ
ルヒネ換算量一仕向地支那ナリ

(d) 「モルヒネ」ヲ使用シ又ハ所持シ得ル者

醫師、醫生、齒科醫師、藥劑師、藥種商、製薬者並業務上又ハ
學術上之ヲ必要トスル者

(五) 「ヘロイン」(デアセチールモルヒネ)

(a) 輸入ナシ

研-0324

(b) 輸出 聯酸「チアセチルモルヒネ」〇〇K 〇〇五〇 仕向地ハ支那ナリ

(c) 製造 聯酸「チアセチルモルヒネ」〇〇K 二〇八

(d) 「ヘロイン」ヲ使用シ又ハ所持シ得ル者「モルヒネ」ト同シ

(A) 醫藥用阿片

(a) 輸入 ナシ

(b) 製造 醫藥用阿片ノ製造數量ナシ 醫藥用阿片ノ含有製劑ノ製造數量(モルヒネ換算量)左ノ如シ

製造工場 所有者	工場所在地	品名	製造數量	高醫藥用阿片換算量	モルヒネ換算量
大正製藥株式會社	東京高陽縣	阿片丁幾	二〇〇・K 六九九	一〇〇・K 〇〇〇	一〇〇・K 〇〇〇

品名	數量	高醫藥用阿片換算量	モルヒネ換算量
ダブル散	一三・六〇八	一・三六〇〇	一・三六
阿片安息	一九・五〇四	〇・〇九七〇	〇・〇一〇
香丁幾	一	一・〇七五	一・〇一三

(c) 輸出ナシ

(d) 醫藥用阿片ヲ使用シ又ハ所持シ得ル者「モルヒネ」ト同シ

(A) 「コカイン」

(a) 「コカイン」ノ栽培地ナシ

(b) 輸出 聯酸「コカイン」〇・一 一四 仕向地ハ支那ナリ

(c) 輸入ナシ

(d) 製造ナシ

(e) 「コカイン」ヲ使用シ又ハ所持シ得ル者ハ「モルヒネ」ニ同シ

見り抄ノ誤
下ノモルヒネ
一移ノ有
ノ製本ノ移
ノ製本ノ移
ノ製本ノ移
ノ製本ノ移
ノ製本ノ移

(甲) 阿片條約ノ適用アル其ノ他ノ藥品

(a) 輸入ナシ

(b) 東海

丙 雜

記事事項ナシ

一九二五年度阿片並有害藥品ノ取引ニ關スル年報（臺灣）

甲 一般

(一) 阿片其他ノ有害藥品ノ取引ニ關シ新ニ公布改廢シタル法令及行政上ノ措置ナシ

(二) 輸出入取締

1 輸入證明書制度ハ完全ニ實施ス

2 本制度實施上輸出入ニ關シ何等特殊ノ困難ナシ

3 本制度ヲ未タ實施セサル國トノ取引ニ關スル措置ハ一九二三年度ノ年報記載ノ通り

(三) 有害藥品ノ製造、販賣、分配、使用等ニ關スル國內取締

有害藥品ノ製造、販賣、分配、使用等ハ法令ヲ以テ之ヲ制限シ

ノ取締ヲ勵行シ特ニ密輸出入ノ禁遏、阿片密吸食ノ防止ニ力ヲ課シ居レリ

- 1 藥品使用習癖ノ傳播ナシ
- 2 法令實施上ノ困難ナシ
- 3 不正取引ノ根源、經路ハ一九二四年度年報記載ノ通り
- 4 不正取引ノ檢舉及處罰左ノ如シ

罪名	件數	處罰人員	檢舉數量
阿片烟膏密輸入	九九	三七	二六九〇六三
生阿片密輸入	二	一	二〇〇〇
阿片密賣買	二〇〇	二二五	四三三〇〇
計	三〇一	二六三	四七〇八〇

乙 藥品別

(四) 生阿片

1 生産ナシ

2 輸入數量左ノ如シ

種類	數量	輸出國	輸入港
印度阿片	三〇〇〇 ^K	印度	基隆
波斯阿片	七一二二六	波斯	基隆
土耳其阿片	三九三三	土耳其	基隆
計	七八一 ^K		

3 輸入シタル生阿片ハ臺灣總督府專賣局ニ於テ本島内ノ阿片烟膏吸食特許者ニ賣下クル阿片烟膏ノ製造ノミニ使用シ「モルヒネ」

其ノ他ノ醫藥用ニ使用セラレタルモノナシ
4 輸出ナシ

(四) 阿片烟膏

- 1 制度上ノ變更又ハ禁遏促進ノ新措置ナシ
- 2 一九二五年中ノ阿片烟膏ノ消費數量四一、九九一箱ナリ
- 3 阿片烟膏小賣價格ハ一九二三年度ノ年報記載ノ通
- 4 一九二五年末ノ吸食特許者數ハ三四、三五九人
- 5 一九二五年末在留支那人總數ハ三一、三八〇人ニシテ臺灣人總數ハ三、九二四、〇二四人ナリ

(六) 「モルヒネ」

1 輸入ナシ

- 2 製造ナシ
- 3 輸出

「モルヒネ」鹽〇・七七八支那國ニ輸出セリ

4 「モルヒネ」ヲ使用シ又ハ所持シ得ルモノ一九二三年報記載ノ通

(七) 「ヘロイン」

- 1 輸入ナシ
 - 2 製造ナシ
 - 3 輸出
 - 4 「ヘロイン」鹽〇・二〇〇支那國ニ輸出セリ
- 「ヘロイン」ヲ使用シ又ハ所持シ得ル者ハ(六)「モルヒネ」ノ價格ニ同シ

(六) 醫藥用阿片

- 1 輸入ナシ
 - 2 製造ナシ
 - 3 輸出 左ノ如シ
- ・○七五支那國ニ輸出セリ
- 4 醫藥用阿片ヲ使用シ又ハ所持シ得ル者ハ(六)「モルヒネ」ノ格者ニ同シ

(九) 「コカイン」

- 1 「コカ」ノ栽培ハ一九二四年報記載ノ通り
- 2 輸出
- 3 紐製「コカイン」及精製「コカイン」ノ輸出ナシ

「コカイン」鹽ノ輸出數量ハ一九二五ニシテ其ノ仕向地ハ支那國ナリ

3 輸入ナシ

4 「コカイン」ヲ使用シ又ハ所持シ居ル者ハ(六)「モルヒネ」ノ資格者ニ同シ

(中) 阿片條約ノ適用アル其他ノ藥品

丙ナシ

其ノ他記載事項ナシ

一九二五年阿片並有害藥品ノ取引ニ關スル年報（關東州）
甲一般

(一) 新ニ法令ノ制定及政廢ヲ爲シタルモノナシ
監督ノ措置トシテハ阿片其ノ他麻藥類ノ取締ノ衝ニ當ル地方警察
官吏ヲ召集シ取締ノ勵行ニ付協働セリ

(二) 輸出入取締

輸入證明制度ハ完全ニ之ヲ實施シ輸入許可ニ際シテハ日英兩文ノ
輸入證明書ヲ發給ス

(三) 有害藥品ノ製造、販賣、分配、使用等ニ關スル國內取締ノ狀況

1 藥品使用習癖傳播ノ狀況ハ大正十年年度ノ年報及其ノ後ノ年報ニ
於テ述ヘタルカ如シ

2 有害藥品ニ關スル法令實施上別ニ支障ナシ

3 不正取引ノ根拠、経路、大正十年年報ニ於テ述ヘタル處ト大差
ナシ

4 不正取引ノ檢舉及處罰

阿片ノ取引ニ關シテハ警察官憲之ヲ取締リ違反者ニ對シテハ阿
片令其ノ他ノ法令ニ依リ嚴重處罰ス大正十四年ニ於ケル阿片ニ
關スル犯罪並「モルヒネ」「コカイン」取締規則ニ違反シ檢舉
セラレタル件數ハ百七十五件ニシテ其ノ犯罪人員ハ百七十七人
ナリ

乙 藥品別

(四) 生阿片

1 生産ナシ

2 輸入

波斯阿片	三六〇〇〇 斤	波斯	大連
土耳其阿片	二二〇〇 斤	土耳其	大連
計	三八二〇〇 斤		

3 薬用阿片製造用トシテ使用シタル生阿片ノ數量ハ六一斤ナリ

4 煙膏及薬用阿片製造用以外ニ生阿片ヲ使用シタルモノナシ

5 輸出ナシ

(五) 阿片煙膏

1 制度ノ變更又ハ禁遏促進ノ爲新ニ執リタル措置ナシ

2 阿片煙膏製造用トシテ生阿片三三六八三斤ヲ販賣セリ

3 阿片煙膏小賣價格ハ前年度ノ年報ノ通(一斤金九十二圓三十二

錢)

4 販賣者登記人員

一九二四年末ニ三二一人但シ山東方面ヨリ出稼ノ苦力ノ隠匿

ハ全部未登記ナリシニ付其ノ後調査シテ登記シタルモノ五千八

ニシテ合計二八二五一人ナリ

一九二五年末ノ現在數ハ二九二一人ナリ

5 一九二五年末現在關東州内在住支那人ノ人口ハ六六五九九〇人

ナリ



約(ハ)(四)(ハ)左表ノ如シ

品名	輸入数量	仕出地	製造	輸出
(イ) モルヒネ鹽	九一・三二八 K	日本獨逸瑞西	ナシ	ナシ
(ロ) ヘロイン鹽	六・七一〇	日本獨逸	ナシ	ナシ
(ハ) 藥用阿片	ナシ			
(ニ) コカイン鹽	一八・三六〇	日本獨逸瑞西	ナシ	ナシ
(ホ) 大麻	六・〇〇〇		ナシ	ナシ
(ヘ) 大麻	ナシ		ナシ	ナシ

其ノ他特ニ記載スヘキ事項ナシ

丙
（モルヒネ類）
（ヘロイン類）
（大麻類）

研-0324

manufacture of prepared opium and medicinal opium.

6. No raw opium was exported.

V. Prepared opium.

1. No new measure due to changes in the system or for the acceleration of prohibition was taken during the year.

2. 33,683 kilograms of raw opium were sold for the manufacture of prepared opium.

3. The retail price of prepared opium was yen 91.32 per kilogram, as mentioned in the report for the preceding year.

4. Number of registered habitual smokers.

At the end of ¹⁹²⁴1923 the total number of registered habitual smokers was ^{25,211}23,211. These figures did not include the number of habitual smokers among coolies coming from the direction of Shaggtung. They were since investigated and 5,000 were registered, making the total 28,252. At the end of 1924 the total number of registered habitual smokers was 29,521.

5. Chinese population of Kwantung.

At the end of 1925 the total Chinese population of the territory was 665,990.

Matters

Matters under VI, VII, VIII, IX and X are shown in the following table:-

Name of preparation	Quantity imported	Country of origin	Manufactured	Exported
VI. Morphine salts	kilograms 91.328	Japan, Germany and Switzerland	None	None
VII. Heroin salts	6.712	Japan and Germany	None	None
VIII. Medicinal opium	None		kilograms 6.100 61.000	None
IX. Cocaine salts	18.360	Japan, Germany & Switzerland	None	None
X. Other drugs narcepon	16.760 0.580/0.290	Japan and Germany <i>(quantities in terms of morphine content)</i>	None	None

Matters under XI, XII and XIII remained as mentioned in the report for the preceding year.

C. Miscellaneous

There is nothing further requiring special mention.



A General.

I. Laws and Regulations Promulgated during 1925.

No laws or regulations were enacted, amended or repealed during the year under review.

As a measure of control, a meeting of local police officials in charge of the control of opium and other dangerous drugs was convened for discussion concerning the strict enforcement of control.

II. Control of Export and Import:

When permission is granted for ⁱⁿportation, a certificate written in Japanese and English is issued.

III. Control of the Manufacture, Sale, Distribution and use of ^{the} Dangerous Drugs:

1. With regard to habitual opium-smoking, the situation was the same as reported in the reports for 1921 and the following years.

2. No difficulty was experienced in regard to the enforcement of laws and regulations concerning ^{the} dangerous drugs.

3. As to the origin and course of illicit traffic, there was little change in the situation from what was reported in the report for 1921.

4. Prosecution and Punishment of Persons guilty of Illicit Traffic:

Traffic

Traffic in opium is controlled by the police authorities and offenders are strictly punished in accordance with the provisions of the Kwantung Opium Ordinance and other related laws and regulations. The number of cases of offences prosecuted relative to opium as well as that of cases of infringement of the Regulations for the Control of Morphine and Cocaine is 175 and the number of the persons punished is 177.

B. Drugs Classified.

IV. Raw Opium.

1. No poppy is grown in the territory.

2. The following quantities of raw opium were imported during the year 1925:-

Description	Quantity	Country of origin	Port of arrival
	Kilograms:		
Persian opium	36,000	Persia	Dairen
Turkish opium	2,200	Turkey	Dairen
Total	38,000		

3. 61 kilograms of raw opium were used in the manufacture of medicinal opium.

4. No raw opium was used for purposes other than the manufacture



REPORT
ON THE TRAFFIC IN OPIUM AND OTHER
DANGEROUS DRUGS
FOR THE CALENDAR YEAR 1925

PREPARED BY THE GOVERNMENT TO
THE KWANTUNG LEASED TERRITORY.

研-0324

4. At the end of 1925 there were 34,359 licensed smokers.
5. The total number of Chinese living in Formosa at the end of 1925 was 31,380 and that of Formosans 3,924,024.

VI. Morphine.

1. There was no importation of morphine.
2. No morphine was manufactured.
3. Exportation:
0.778 kilogram of morphine salts were exported to China.
4. The persons permitted to use or possess morphine are the same as those mentioned in the report for 1923.

VII. Heroin.

1. There was no import of heroin.
2. There was no manufacture of heroin.
3. Exportation:
0.200 kilograms of heroin salts were exported to China.
4. The Persons ^{permitted} ~~allowed~~ to use or possess are the same as those permitted to use or possess morphine.

VIII. Medicinal Opium.

1. There was no import of medicinal opium.
2. There was no manufacture of medicinal opium.

3.

3. 0.075 kilograms of medicinal opium were exported to China.

4. The ^{permitted} ~~persons allowed~~ to use or possess medicinal opium are the same as those permitted to use or possess morphine.

IX. Cocaine.

1. With regard to the cultivation of the coca plant, the situation remained the same as mentioned in the report for 1924.

2. Exportation:

There was no export of crude or refined cocaine nor of coca leaves.

1.525 kilograms of cocaine salts were exported to China.

3. There was no import of Cocaine.

4. The Persons allowed to use or possess cocaine are the same as those permitted to use or possess morphine.

X. Other drugs.

There is nothing further to report under this heading.

3. The origin and course of illicit traffic remain as mentioned in the report for 1924.

4. The number of cases of illicit traffic taken up and of persons punished during 1925 were as follows:

Offence	No of cases	No. of persons punished	Quantities dealt with	Remarks
Smuggling of prepared opium	99	37	Kilograms 269,636	Made in China
Smuggling of raw opium.	2	1	2,062	Made in China
Secret Sale or purchase of opium	200	225	4,436,606	Sale or purchase of smuggled goods and smuggling to China.
Total	301	263	4,708,304	

B. Drugs Classified.

IV. Raw Opium.

1. No raw opium was produced in the territory.
2. Amount of raw opium imported during the year under review was as follows:-

Description	Quantity	Country of export	Port of arrival
	Kilograms		
Indian	3,000.000	India	Keelung
Persian	71,226.000	Persia	"
Turkish	3,933.000	Turkey	"
Total	78,159.000		

3. The raw opium imported was entirely used by the Monopoly Bureau in the manufacture of prepared opium to be exclusively sold to licensed smokers in the island.

No raw opium was used for the manufacture of morphine or for medical purposes.

V. Prepared Opium.

1. No new measure due to changes in the system or for the acceleration of prohibition was taken during the year.
2. The total amount of prepared opium consumed during 1925 was 41,991 kilograms.
3. The retail price of prepared opium remained the same as mentioned in the report for 1923.

4.

REPORT
ON THE TRAFFIC IN OPIUM AND OTHER
DANGEROUS DRUGS
FOR THE CALENDAR YEAR 1925

PREPARED BY THE GOVERNMENT
OF TAIWAN (FORMOSA)

A General.

I. There were no laws or regulations concerning the traffic in opium and other dangerous drugs promulgated or amended during the year 1925. Nor were any new administrative measures taken with regard to the matter.

II. Control of Import and Export:

1. The import certificate system was thoroughly enforced.
2. In enforcing the system no special difficulty was experienced.
3. Measures taken concerning traffic with countries which do not as yet enforce the system remained as mentioned in the report for the year 1923.

III. Internal Control of the Manufacture, Sale, Distribution and Use of the dangerous drugs:

The manufacture, sale, distribution and use of the dangerous drugs are restricted by laws and regulations, special efforts being exerted for the prevention of smuggling and secret opium-smoking.

1. There is no indication that the addiction to dangerous drugs is spreading.
2. No difficulty is experienced in the enforcement of the relevant laws and regulations.

3.

3. Exportation :

There was no export of medicinal opium.

4. The persons permitted to use or possess medicinal opium are the same as those permitted to use or possess morphine.

IX. Cocaine

1. There is no land where coca plant is cultivated.

2. Exportation:

0.114 kilograms of cocaine hydrochloride was exported to China.

3. Importation:

No cocaine was imported or manufactured.

4. Persons permitted to use or possess cocaine are the same as those permitted to use or possess morphine.

X. Other Drugs Provided for in the Convention.

No such drugs were imported or manufactured.

C. Miscellaneous

There is nothing to be reported under this head.

VII. Heroin (Diacetyl Morphine)

1. Importation:

There was no importation of heroin from foreign countries.

2. Exportation:

0.050 kilograms of diacetyl morphine hydrochloride was exported to China.

3. Manufacture:

0.108 kilograms of diacetyl morphine hydrochloride was manufactured.

4. Persons permitted to use or possess heroin are the same as those permitted to use or possess morphine.

VIII. Medicinal opium.

1. Importation:

There was no importation of medicinal opium from foreign countries during the year under review.

2. Manufacture:

Owner of factory	Location of factory	Quantities Manufactured		Quantities in terms of medicinal opium contents	Quantities in terms of morphine contents
		Preparation	Quantity		
Taisho Seiyaku Kaisha, Ltd.	Koyo-gun, Keiki-do	Tincture of opium	Kilograms 100.699	10.000	1.000
"	"	Dover Powder	13.608	1.360	0.136
"	"	Perfumed tincture of opium	19.504	0.097	0.010
Total				11.457 11.525	1.146

3.

B. Drugs Classified.

IV. Raw Opium.

1. Production:

Area of land under poppy	Quantity produced	Percentage of Morphine content
24,860 ares	746.596 Kilo-grams	11.040 percent

2. There was no importation of raw opium.

3. The quantity and description of raw opium used in the manufacture of drugs were as follows :-

	Description	Quantity
Morphine	Raw Opium Produced in Chosen	1,214,541 kilograms
Medicinal Opium	Nil	Nil
Other drugs	Raw opium Produced in Chosen	14.913 kilograms

4. No raw opium was used for other purposes than the manufacture of drugs.

5. There was no importation of raw opium

V. Prepared Opium.

1. The smoking of prepared opium is absolutely prohibited in Chosen.

2.

2. The number of cases of offence taken up and of persons punished for opium smoking was as follows:-

Number of cases taken up.	Offenders.
67	105

VI. Morphine

1. Importation

There was no importation of morphine from foreign countries during the year under review.

2. Manufacture:

Quantity of morphine and morphine salt manufactured:-

Owner of factory	Location of factory	Preparation	Quantity
Taisho Seiyaku Kaisha, Ltd.	Koyogun, Keiki-do	Morphine hydrochloride	13.023 kilos

3. Exportation:

0.070 kilograms of morphine hydrochloride and 0.495 kilograms (in terms of morphine content) were exported to China.

4. Persons permitted to use or possess morphine:

Physicians, native physicians of the old school, dentists, pharmacists, druggists and persons needing it for professional or scientific purposes.

VII

II. Control over Export and Import.

No import of opium and prepared opium is under any circumstances permitted. As regards other narcotics, it is also the policy of the Government not to permit their importation for the time being, though permission is given for the importation of limited quantities of such drugs to be exclusively used for medical and scientific purposes.

III. Internal Control of Manufacture, Sale, Distribution and Use of ^{the} Dangerous Drugs.

With regard to the manufacture of opium, permission for this is given only to those who are considered suitable, localities being specified for the cultivation of poppies, and police detailed for supervision when the sap is gathered and opium manufactured. As regards the opium manufactured, the manufacturers are required to submit it in its entirety to the Government within a specified time, and, as already mentioned in paragraph I, the Government, after examination and appraisal, sells it to the appointed druggists, taking charge of it until the transaction is completed in order that no illicit traffic or use is effected. The appointed druggists are allowed to use the opium bought from the Government only for the purpose of manufacturing opium or other opium alkaloids from it, being absolutely prohibited from transferring or receiving any to or from other parties. For the year under review, the Taisho Seiyaku

Seiyaku Kaisha has been appointed as druggists privileged to buy opium from the Government.

With regard to the enforcement of the law regarding the control of the sale, distribution and use of narcotics, as mentioned in the report for the calendar year 1924, great attention has been paid to their strict enforcement, and steps have been taken for the prevention of any smuggling of *the* dangerous drugs.

The number of cases taken up and of persons prosecuted and punished for infringement of the laws and regulations during 1925 were 830 cases and 1223 persons respectively.

Report
by
the Government of Chosen
for the Calendar year 1925.

A. General

I. Laws and regulations promulgated during 1925.

Specifying places for the cultivation of poppies for the manufacture of opium, the Government of Chosen had since 1919 made it a monopoly, and had been receiving all the product manufactured, selling it for exclusive use in the preparation of morphine and other opium alkaloids to certain druggists specially appointed by the authorities. The monopoly system, however, having been abolished as a result of administrative readjustments carried out in 1923, it was found necessary to exercise control over traffic in opium by other means than by a monopoly. Accordingly, the Ordinance for the Control of Opium in Chosen and the Regulations for the Enforcement of Control of Opium in Chosen were revised by Ordinance No. I and Order No. 77 promulgated on July 29, 1925, by which it was enacted that all the opium manufactured should be submitted to the Government within an appointed time, that after examination and appraisal the Government should sell it at a fixed price to druggists specially appointed by the Governor-General of Chosen, and that the Government should assume the responsibility of taking charge of it until the completion of the transaction relating to the Goods. It was further enacted that persons failing so to submit the opium they manufactured should be punished with imprisonment for a term not exceeding two years or a fine not exceeding 1000 yen.

II.

(C) Importation:

(1) Quantities of crude cocaine imported:

Quantity	Country of origin
Kilogram	
100.000	Germany
438.962	Peru
538.962	Total

(2) No cocaine hydrochloride was imported.

(3) No preparations containing cocaine were imported

(D) Manufacture:

Name of factory	Location	Quantity of Cocaine Salts manufactured	Quantity in terms of Cocaine content
		Kilogram	Kilogram
Koto Drug Manufacturing Co.	Tokyo	571.071	508.253
Hoshi Drug Manufacturing Co.	"	380.212	338.389
Sankyo Co.	"	219.316	195.191
Takeda Drug Manufacturing Co.	Osaka	329.021	292.828
Drug Factory of Shionogi Store	"	94.701	84.284
Total		1,594.321	1,418.945

(E) The situation remained the same as mentioned in the clause "morphine".

X. Other Drugs Provided for in the Convention.

A. Manufacture:

Name of preparation	Name of factory	Location	Quantity manufactured	Quantity in terms of morphine content
			Kilogram	Kilogram
Narcopon	Radium Drug manufacturing Co.	Tokyo	56.401	28,200,5
Allopon	Dai Nihon Drug manufacturing Co.	Osaka	4,843,9	1.792,2
Ethylmorphine hydrochloride	Dai Nihon Drug manufacturing Co.	Osaka	2.600	1.300
Total			63.844,9	31.292,7

(B) .5.000 kilograms of Ethylmorphine were imported from England.

(C) 0.395 kilograms of Ethylmorphine was exported to China.

(D) The persons permitted to use or possessed the drugs are the same as those mentioned in the clause "morphine".

C. Miscellaneous.

There is nothing requiring special mention under this head.

(C) Exportation:

(1) Quantities of heroin salts exported:

Quantity	Destination
Kilogram	
0.792,5	China
0.250,0	Kwantung
1.042,5	Total

(2) No preparations containing heroin were exported.

(D) The person permitted to use or possess heroin are the same mentioned in the clause "Morphine".

VIII Medicinal opium.

(A) Importation

(1) No medicinal opium was imported.

(2) Quantities of preparations containing medicinal opium imported

Name of preparation	Quantity in terms of medicinal opium content	Quantity in terms of morphine content	Country of origin
Dover's powder	Kilogram 224.984,6	Kilogram 22.498,46	Germany
Tincture of opium	158.760,0	15.876,00	England
"	268.905,6	26.890,56	France
"	110.700,0	11.070,00	Switzerland
Total	763.350,2	76.335,02	

(B) Manufacture:

Name of factory	Location	Quantity manufactured	Quantity in terms of morphine content
Osaka Hygiene Laboratory of the Home Office	Osaka	Kilogram 1,141.000	Kilogram 114.100

(C) Exportation:

(1) No medicinal opium was exported.

(2) Quantities of preparations containing medicinal opium exported:

Name of preparation	Quantity in terms of medicinal opium content	Quantity in terms of morphine content	Destination
	Kilogram	Kilogram	
Dover's powder	5.962,5	0.596,25	China
Tincture of opium	5.312,5	0.531,25	"
Aromatic wine of opium	0.045,0	0.004,50	"
Total	11.320,0	1.132,00	

(D) The persons permitted to use or possess medicinal opium are the same mentioned in the clause "morphine".

IX. Cocaine.

(A) No coca plant is grown in Japan Proper.

(B) Exportation:

(1) No crude cocaine was exported.

(2) Quantities of cocaine hydrochloride exported:

Quantity	Destination
Kilogram	
3.495	China
0.135	Kwantung
3.630	Total

(B) Manufacture:

Name of factory	Location	Quantity of Morphine Salts manufactured	Quantity in terms of Morphine weight
		Kilogram	Kilogram
Sankyo Co.	Tokyo	341.527	259.560,5
Hoshi Drug Manufacturing Co.	"	1,038.302	789.109,5
Dai Nihon Drug Manufacturing Co.	Osaka	513.812,5	390.497,5
Total		1,893.641,5	1,439.167,5

(C) Exportation:

(1) ~~No morphine was exported.~~

(2) Quantities of morphine hydrochloride exported:

Quantity Kilogram	Destination
1.461	China
0.051	Kwantung
1.512	Total

(3) Quantities of drugs containing Morphine exported:

Name of Preparation.	Quantity in terms of Morphine content Kilogram	Destination
Morphine hydrochloride solution for injection	0.041,8	China
"	0.007,5	Kwantung
Pantopon powder	0.056,5	China
" "	0.005,0	Kwantung

Pantopon solution	0.000,5	China
Pantopon solution for injection	0.012,8	"
Pantopon Scopolamin Solution for injection	0.013,2	"
Narcopon powder	0.047,5	"
Narcopon Solution for injection	0.046,0	"
Narcopon Scopolamin Solution for injection	0.027,1	"
"	0.000,3	Kwantung
Laudanon Solution for injection	0.001,6	China
Laudanon Solution	0.000,1	China
Total	0.259,9	

(D) The Persons permitted to use or possess morphine are the same as stated in the report for 1921.

VII. Heroin.

(A) Importation:

(1) No heroin salts were imported.

(2) No preparation containing heroin was imported.

(B) Manufacture:

Factory	Location	Quantity of heroin salts manufactured	Quantity in terms of Morphine content.
		Kilogram	Kilogram
Dai Nihon Drug Manufacturing Co.	Osaka	141.750	94.972,5

are paying a great deal of attention to their strict enforcement.

The number of cases taken up and prosecuted for the infringement of the laws and regulations during the year 1925, was 67.

B. Drugs Classified.

IV. Raw Opium.

(A) Production:-

Area of land used for cultivation of poppies: 47,752.3 Ares.
Quantity of opium produced: 3,613,363 Kilograms.
Average percentage of morphine contents: 13.8468 Per cent.

(B) Importation:-

Table with 4 columns: Quantity, Description, Port of Shipment, Port of Arrival. Rows include Turkish opium from Port Said, Constantinople, and Smyrna, and a total of 20,051.000 kilograms.

(C) Quantities used in the manufacture of drugs:-

- (1) Quantity used for the manufacture of morphine, heroin, dionie and codeine phosphate: 16,636,557 kilograms.
(2) Quantity used in the manufacture of medicinal opium: 1,018,391 kilograms.

(3)

(3) Quantity used in the manufacture of narcocon and other drugs: 322.841 kilograms

- (D) No raw opium was used for purposes other than the manufacture of drugs.
(E) No permission is given for the export of raw opium.

V. Prepared Opium.

Matters under this head remain in the same state as mentioned in the report for 1921.

VI. Morphine.

(A) Importation:

- (1) No morphine salts were imported.
(2) Quantities of preparations containing Morphine:-

Table with 3 columns: Preparation, Quantity in terms of morphine weight, Country of origin. Rows include Pantopon powder, Pantopon solution for injection, Spasmargin powder, Juvopan, and a total of 7.500 kilograms.

(B)

Report
on the Traffic in Opium and other
Dangerous Drugs
for the Calendar Year 1925.

Prepared by the Government of Japan.

A. General.

I. No new laws or regulations were promulgated during the year under review.

As an administrative measure, a conference of experts in the service of local governments and in charge of the control of opium and other dangerous drugs was convened in Tokyo to consider effective measures for their strict control.

II. Control of Export and Import:

When permission is given for the importation of opium or other dangerous drugs, a written certificate as well as a certificate in English is issued.

With regard to the enforcement of the system no difficulties were experienced.

With regard to transactions with those countries which have not as yet adopted the system of import certificates for import, import certificates in English are issued; and for exportation permission is granted after examination of any permits given by the authorities of the country to which the goods are destined.

III. Control at home over Manufacture, Sale, Distribution, Use, &c. of Dangerous Drugs:

There is no sign of any spread of the drug habit in Japan Proper. With regard to the enforcement of laws and regulations, as mentioned in the report for 1921, the

authorities

阿片取引年報
一九二五年
第一卷
第一號

阿片取引年報（一九二五年）
甲一般

新ニ法律、規則ノ公布セラレタルモノナシ

行政上ノ措置トシテハ阿片其ノ他危険ナル藥品類取締ノ衙ニ當ル
地方技術官ヲ召集シ取締ノ勵行ニ付キ協議シタリ

（二）輸出入取締

輸入許可ニ際シ輸入許可證ト共ニ英文輸入許可證明書ヲ發給シツ
ツアリ

而シテ右制度實施上

（一）及（二）別ニ困難ナル事情ナシ

（赤 梓 紙）

外 務 省

（赤 梓 紙）

輸入證明書制度ヲ未タ實施セサル國トノ取引ニ際シテハ之ヲ實施
セル國ト否トヲ問ハス輸入ニ際シテハ英文輸入許可證明書ヲ發給
シ輸出ニ關シテハ輸入國官憲ノ認證アルモノニ就キ審査ノ上許可
ヲ與ヘ居レリ

（三）危険藥品ノ製造、販賣、分配、使用等ニ關スル國內取締ノ狀況

本邦内地ニ於テハ藥品使用癮ノ傳播ナク尙取締法規ノ實施ニ關シ
テハ一九二一年年報記載ノ通り本省ニ於テハ取締ノ勵行ニ注意シ
又密輸出ノ禁遏ニ努メ居レリ
法令違反ニ對スル起訴科刑ニ關シ一九二五年内ニ各府縣ヨリノ報
告ニ係ルモノ左ノ如シ

檢舉件數

檢舉人員

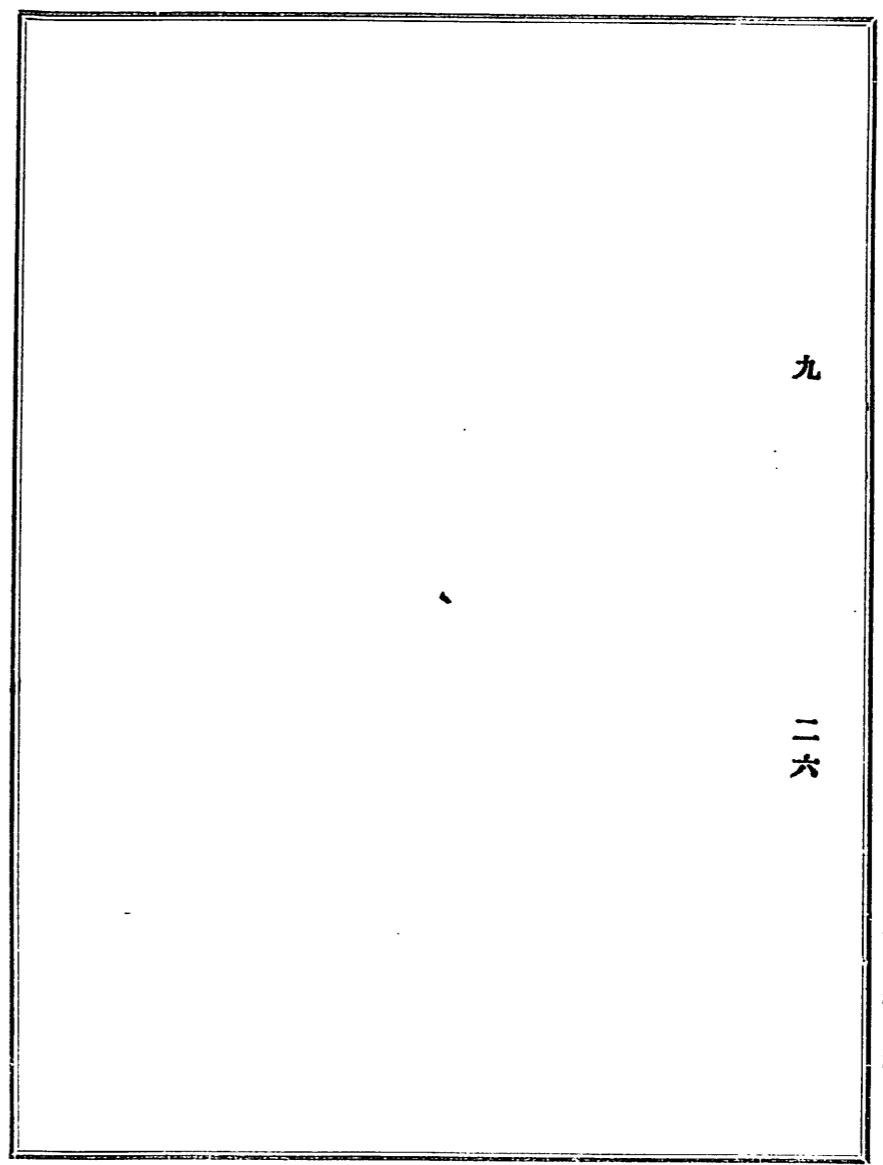
外 務 省

254

九

二六

(赤
梓
紙)



外
務
省

(赤
梓
紙)

乙 藥品別

(四) 生阿片

(a) 生産

罂粟栽培地面積

アール 町反畝 歩
四七七四二五 (四八
一四〇〇)

生産數量

三六一五五三

モルヒネ平均含有量

一三・八四六八 %

(b) 輸入

數量

種類

輸出港

輸入港

四四七八九〇〇

土耳其

横濱

一三二一四六〇〇

コンスタンチ

三三八四三〇〇

マルセイユ

外
務
省

研-0324

(赤 梓 紙)

(6) 生阿片ノ輸出ハ許可セス

(5) 阿片煙膏

一九二一年年報記載ノ通り

(4) モルヒネ

(3) 輸入

(1) 及 (2) モルヒネ及モルヒネ鹽ノ輸入ナシ

備考

中華民國海軍總司令公署所要ノ鹽酸ヘロイン製造ノ委託ニ依
 リ大阪府下精華製藥株式會社ニ於テ鹽酸モルヒネ九三〇、^K〇
 〇〇ヲ獨逸ヨリ輸入シ之ヲ鹽酸ヘロインニ轉換セリ

(3) モルヒネ含有製劑輸入數量

外 務 省

(赤 梓 紙)

合計	八七、〇〇〇	・	スミルナ	・
	二〇、〇〇〇			
	六七、〇〇〇			

(5) 製藥用ニ使用セラレタル數量

(1) モルヒネ、ヘロイン、デオニン及癩酸コデインノ製造ニ使用
 シタル阿片

一六、六三六、^K五七四

(2) 醫藥用阿片製造ニ使用シタル阿片

一〇、一八三、^K九二二

(3) ナルコボン其他ノ製造ニ使用シタル阿片

三三、三八四、^K一七

(4) 製藥用以外ニ使用セラレタルモノナシ

外 務 省

合 計	一八三九、六四一、六五五
-----	--------------

外 務 省

(赤 梓 紙)

製造工場名	所在地	モルヒネ 製造高	モルヒネ 換算量	仕 出 國	
				瑞 西	
三共株式会社	東京	三、四一、七	二、五九、五		
星製薬株式会社		一、〇三、六三〇	七、八九、一〇九		
大日本製薬株式会社	大阪	五、一三、八一三	三、九〇、四九七		
合計					

外 務 省

(赤 梓 紙)

(b) 製造

薬品名	モルヒネ 換算量
パントホン粉末	五、〇〇〇
パントホン注射液	二、八八〇
スパースマルギン粉末	一、一〇〇
ジュポバン	二、五〇〇
合計	一、一〇〇

瑞 西

		移出	
		(1) モルヒネノ移出ナシ	
		(2) 鹽酸モルヒネ移出數量	
	數量	仕向地	
	二一・k 二七七	臺灣	
	三・〇 一四	朝鮮	
	一・六 八〇	樺太	
合計二五・九七二			
(3) モルヒネ含有製劑移出數量			
品名	モルヒネ換算量	仕向地	
鹽酸モルヒネ注 射液	〇・k 二一一・五	朝鮮	

外務省

(赤梓紙)

		ラウダノン液
		合計
	〇・k 二五九	支那

外務省

(赤梓紙)

ナ ル コ ボ ン 、 ア ト ロ ピ ン 注 射 液	ス パ ー ス マ ル ギ 注 射 液	ス パ ー ス マ ル ギ	ラ ウ ダ ノ ン 錠	エ キ ス ベ ク ト 錠	パ ン ト ボ ン 注 射 液	、	、
○・〇一、八	○・〇二六、〇	○・〇四、九	○・〇三〇、〇	○・〇一六、三	○・〇〇四、五	○・〇一、二、〇	○・〇一六、一
樺太	朝鮮	、	、	、	、	臺灣	朝鮮

外務省

(赤梓紙)

、	、	、	、	、	、	、	、	、
二・〇三六、五	○・〇一五、〇	○・一三三、〇	○・〇〇七、六	三・六七八、五	○・四七〇、〇	○・二四六、五	○・〇二〇、〇	○・一九九、九
臺灣	樺太	朝鮮	臺灣	朝鮮	臺灣	樺太	朝鮮	臺灣

外務省

(赤梓紙)

數量	仕向地
○・七九二、五	支那
○・二五〇、〇	關東州
合計一・〇四二、五	
(3)ヘロイン含有製劑ノ輸出ナシ	
移出	
(1)ヘロインノ移出ナシ	
(2)鹽酸ヘロイン移出數量	
數量	仕向地
二五・六九六	臺灣
二・八〇二、五	朝鮮

(赤梓紙)

外務省

○・六一三、五	樺太		
合計二九・一一二			
(3)ヘロイン含有製劑移出ナシ			
(d)及(e)モルヒネノ項ニ記載スル所ニ向シ			
(ハ)醫藥用阿片			
(a)輸入			
(1)輸入セス			
(2)醫藥用阿片含有製劑輸入數量			
品名	醫藥用阿片換算量	モルヒネ換算量	仕向地
ドーフル散	二二四・九八四、六	二二・四九八、四	獨逸國
阿片丁幾	一五八・七六〇、〇	一五・八七六、〇	英國

(赤梓紙)

外務省

品名	(1) 醫藥用阿片含有製劑移出數量		仕向地
	醫藥用阿片換算量	モルヒネ換算量	
ドーフル散	三・一六〇	〇・三一六	朝鮮
	一七・〇三〇	一・七〇三	臺灣
	〇・五四〇	〇・〇五四	樺太
合計	一一・三二〇	一・一三二、〇〇	

外務省

(赤枠紙)

製造所名	所在地	製造數量	モルヒネ換算量	阿片丁幾			
					大阪衛生試験所	大阪	一、一四一・k
合計		七六三・三五〇、二七六・三三五、〇二		二六八・九〇五、六二六・k	八九〇、五六	佛	西

(b) 製造

備考 右製造數量ハ瓶詰トシ之ニ封緘ヲ施シ市場ニ販賣シ得ルモノナリ

(c) 輸出

(1) 醫藥用阿片輸出數量ナシ

(2) 醫藥用阿片含有製劑輸出數量

外務省

(赤枠紙)

(ウ) コカイン

(a) コカ樹栽培 百ナシ

(b) 輸出

(1) 及(2) 粗製コカイン及コカインノ輸出ナシ

(3) 鹽酸コカイン輸出數量

數量	仕向地
三・k 四九五	支那
〇、一三五	關東州
合計三・k 六三〇	

移出 鹽酸コカイン移出數量

(赤 梓 紙)

外 務 省

(d) 及(e) モルヒネノ項ニ記載スル所ニ同シ

阿片丁幾	阿片散	合計
五・k 八九五	〇・〇 一五	二九・四 五二
二・四 五九、五	〇・三 五五	
〇・k 五八九、五〇 朝鮮	〇・〇 三、五〇 樺太	二・九 四五・二〇
〇・二 四五、九五 臺灣	〇・〇 一、二五	

(赤 梓 紙)

外 務 省

數量	仕向地
二一・七三二、五	朝鮮
一五・三五六	臺灣
三・九七七、五	樺太
合計四一・〇六六	
(0) 輸入	
(1) 組製コカイン輸入數量	
數量	仕出地
一二〇・〇〇〇	獨逸
四三八・九六二	秘魯
合計五五八・九六二	

(赤梓紙)

外務省

(2) 鹽酸コカインノ輸入ナシ	
(3) コカイン含有製劑ノ輸入ナシ	
(4) コカ葉輸入數量	
數量	仕出地
三五九、〇五〇・k	爪哇
一三七	
移入	
(1) コカ葉移入數量	
數量	仕出地
二七、一七五・一七六	臺灣
(2) 鹽酸コカイン移入數量	
數量	仕出地

(赤梓紙)

外務省

一九九・k三四〇 臺灣

(b) 製造		製造工場名	所在地	コカイン製造高	コカイン換算量
		江東製薬株式会社	東京	一〇七・五〇〇	九五・六〇七
		星製薬株式会社	・	七五・六〇〇	六五・五〇〇
		三共株式会社	・	四八・五〇〇	四三・一〇六
		武田製薬株式会社	大阪	七六・六〇〇	六九・〇〇六
		鹽野義商店製薬所	・	一三・二五九	一一・七〇八
合計				三二一・三六〇	二八五・一〇七

(c) モルヒネノ項ニ記載スル所ニ同シ
 (d) 阿片條約ニ規定スル其他ノ藥品

(赤枠紙)

外務省

(赤枠紙)

(a) 製造		藥品名	製造工場名	所在地	製造數量	モルヒネ換算量
		ナルコボン	ラヂウム製薬株式会社	東京	五・六〇一	一・八〇〇
		アロポン	大日本製薬株式会社	大阪	四・八四三	一・七九二
		燐酸コデイン	・	・	一・八〇〇	一・五〇六
		鹽酸エチルモルヒネ	三共株式会社	東京	六・二三五	四・六一三
			大日本製薬株式会社	大阪	二・六〇〇	一・三〇〇
合計					一八・〇四四	六・九一四

(b) 輸入及移入
 (c) 輸入

外務省

燐酸コデイン		鹽酸エチルモルヒネ	
數量	仕向地	數量	仕向地
一〇・九〇	支那	一〇・九〇	支那
五・〇〇	關東州	五・〇〇	關東州
五・〇〇		五・〇〇	
五・〇〇		五・〇〇	

(1) 輸出

燐酸コデイン		鹽酸エチルモルヒネ	
數量	仕向地	數量	仕向地
一六・二〇	支那	一六・二〇	支那
五・〇〇	關東州	五・〇〇	關東州
五・〇〇		五・〇〇	
五・〇〇		五・〇〇	

(2) 移入ナシ

(3) 輸出及移出

(赤枠紙)

外務省

燐酸コデイン		鹽酸エチルモルヒネ	
數量	仕向地	數量	仕向地
二六・五〇	朝鮮	二六・五〇	朝鮮
四九・二一	臺灣	四九・二一	臺灣
三・二六	樺太	三・二六	樺太
一・六三	朝鮮	一・六三	朝鮮
一・九五	臺灣	一・九五	臺灣
〇・一八	樺太	〇・一八	樺太

(2) 移出

消費量及使用又ハ所持シ得ル者ハモルヒネノ項ニ記載スル所ニ同シ

丙 雜

特ニ記載スヘキ事項ナシ

(赤枠紙)

外務省

(赤 梓 紙)

一九二五年度阿片並危険薬取引ニ關スル
年報(朝鮮)

甲 一般

(一)大正十四年中公布セラレタル法律、規則

朝鮮ニ於テハ大正八年以來一定ノ地域ヲ指定シテ阿片ノ製造ヲ許
可シ製造シタル阿片ハ政府ノ專賣ト爲シ悉ク朝鮮總督府ニ收納シ
「モルヒネ」其ノ他ノ阿片「アルカロイド」ヲ製造スル場合ニ限
リ本府ノ指定シタル製業者ニ賣下クルコトトセシカ大正十三年行
政整理ノ際專賣ノ制度ヲ廢止シタルヲ以テ專賣以外ノ方法ニ依リ
之カ取締ノ徹底ヲ期セムカ爲大正十四年七月二十九日訓令第一號
及府令第七十七號ヲ以テ朝鮮阿片取締令及朝鮮阿片取締施行規則

外 務 省

(赤 梓 紙)

ヲ改正シ製造シタル阿片ハ指定ノ期日迄ニ必本府ニ提出セシメ本
府ニ於テ之カ鑑定ヲ爲シタル後一定ノ價格ニ依リ朝鮮總督ノ指定
シタル製業者ニ販賣セシメ現品ノ引取ヲ了スル迄本府之カ保管ノ
責ニ任スルコトトセリ而シテ阿片ノ提出ヲ爲ササル者ニ對シテハ
二年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ヲ科セララルモノトス

(二)輸出入取締

阿片及阿片煙 ハ絶対ニ輸入ヲ認メス其ノ他ノ麻薬ニ就テモ當分
ノ内其ノ輸入ヲ許可セサル方針ニシテ目下朝鮮内ニ於ケル醫療用
及學術用ニ使用セララルル數量ノミニ對シ僅カニ移入ヲ許可セルニ
過キス

(三)危険藥品ノ製造、販賣、分配及使用等ニ關スル國內取締狀況一般

外 務 省

國內取締ハ阿片ノ製造ニ關シテハ一定ノ地域ヲ指定シテ適當ナル者ニ之ヲ許可スルコトトシ乳液ノ採取、阿片ノ製造ニ當リテハ特ニ警察官吏ヲシテ之カ取締ノ任ニ當ラシメ製造シタル阿片ハ指定ノ期日迄ニ全部本府ニ提出セシメ更ニ第一項ニ記載シタル通本府ニ於テ其ノ鑑定ヲ爲シ指定製業者ニ販賣セシメ尙現品ノ引取ヲ了スル迄本府ニ於テ之ヲ保管シ以テ不正ノ賣買及使用ノ虞ナカラシム而テ指定製業者ヲシテ右阿片ニ依リ「モルヒネ」其ノ他ノ阿片「アルカロイド」又ハ其ノ誘導體若ハ製品ノ製造ニ供セシメ尙右阿片ハ絶對ニ讓渡シ又ハ讓受クルコトヲ得サラシム而テ本年度ニ於テハ製造シタル阿片ヲ購買スヘキ製業者トシテ大正製藥會社一社ヲ指定セリ

(赤 梓 紙)

外 務 省

其ノ他麻藥類ノ販賣、分配及使用ニ關スル取締法ノ實施ニ關シテハ大正十三年度年報記載ノ通取締ノ勵行ニ留意シ又密輸入ノ禁遏ニ努メ居レリ
大正十四年中阿片及麻藥類ニ關スル法令ニ違反シ檢舉及處罰セラレタル數ヲ擧クレハ左表ノ如シ

(赤 梓 紙)

外 務 省

研-0324

全南警察部令 第三號	平南警察部令 第二號	忠七類取新規則 第一條	全 全 第二條	全 全 第六條	全 全 第六條ノ二	全 全 第六條ノ三	全 第十一條	全 第十二條
五八	五八	三	一	一	一六	一六	五	三九
五八	五八	三	一	一	一六	一六	五	三九
五八	五八	六	一	一	一八	一八	一	四一
五三	五三	三	一	一	三	三	五	五
一三	一三	三	一	一〇	七	七	一七	一七
五九	五九	三	一	一	九	九	五	五
五九	五九	三	三	一	三〇	三〇	五	五
五九	五九	三	三	一	三〇	三〇	五	五
五九	五九	三	三	一	三〇	三〇	五	五
四一〇	四一〇	三	一	一	一	一	一	一
一六	一六	五	三	一	一一	一一	四	四
一七	一七	八	一	一	八〇	八〇	八	四七
二	二	三	一	一	一一	一一	五	五

(赤梓紙)

(赤梓紙)

外務省

外務省

乙 薬品別

(四) 生阿片

(a) 生産

罂粟栽培地面積 生産額
 二四、八六〇ル 七四六、五九六
 モルヒネ含有率
 一一、%〇四〇〇

(b) 輸入ナシ

移入ナシ

(c) 製薬用ニ使用セラレタル生阿片ノ数量及種類ヲ舉クレハ左表ノ如シ
 製薬用阿片使用量

(赤 梓 紙)

外 務 省

(赤 梓 紙)

刑 法 第一三六條	犯 罪 事 實 適 用 法 條	犯 罪 件 數	檢 査 件 數	犯 罪 人 數	懲 役 罰 金 拘 留 料 未 決	モ ル ヒ ネ		醫 藥 用 阿 片		其 ノ 他 ノ 醫 藥	
						種 類 數 量	種 類 數 量	種 類 數 量	種 類 數 量		
二三	二三	三九	九	四	一	一	一	朝鮮生阿片 キロ瓦 二四九一三	朝鮮生阿片 キロ瓦 二四九一三		

(a) 阿片煙ノ吸食ハ朝鮮ニ於テハ絶對ニ禁止シ居レリ
 (b) 吸煙ニ關スル檢査及處罰ヲ舉クレハ左表ノ如シ
 (c) 製薬用以外ニ使用セラレタルモノナシ
 (d) 輸出ナシ 移出ナシ
 (e) 阿片煙膏

外 務 省

計	第一四〇條	第一三九條 第一項	第一三九條 第一項	第一三七條
六七	一三	三	二二	六
六七 一〇五	一三 一	三 六	二二 四	六 八
三五	三	二	一八	三
四				
四			四	

(内) モルヒネ

(a) 輸入

本年中輸入セシモノナシ

移入

モルヒネ鹽二、七〇五、七二八モルヒネ含有製劑三、二七五 (換算量)

外務省

(赤枠)

(b) 製造		仕出地ハ日本内地ナリ	
モルヒネ及モルヒネ鹽類製造高			
製造工場所有者	同所在地	品名	數量
大正製藥株式會社	京畿道高陽郡	鹽酸モルヒネ	一三、〇五三
		粗製モルヒネ	五一三、五二四

(c) 輸出

鹽酸モルヒネ〇、〇七〇モルヒネ含有製劑〇、四九五 (換算量)

仕向地支那ナリ

(d) モルヒネ國內消費量

(赤枠)

外務省

(赤 梓 紙)

醫 療 用 一八、四八一 キロ
 科 學 用 ナシ
 (e) 「モルヒネ」ヲ使用又ハ所持シ得ル者
 醫師、醫生、齒科醫師、藥劑師、藥種商、製藥者並業務上又ハ
 學術上之ヲ必要トスル者
 (f) ヘロイン (デアセチールモルヒネ)
 (d) 輸入ナシ
 移入、鹽酸デアセチールモルヒネ一、三〇七仕出地ハ日本内地
 ナリ
 (b) 輸出、鹽酸デアセチールモルヒネ五〇瓦
 仕向地ハ支那ナリ

外 務 省

(赤 梓 紙)

移出ナシ
 (c) 製造、鹽酸デアセチールモルヒネ一〇八瓦
 (d) ヘロインノ國內消費量 キロ
 醫 療 用 一、〇一四 瓦
 科 學 用 ナシ
 (f) ヘロインヲ使用又ハ所持シ得ル者「モルヒネ」ニ同シ
 (h) 醫藥用阿片
 (a) 輸入ナシ
 移入、醫藥用阿片一、〇〇〇阿片含有製劑七、一八九 (醫藥用阿片換算量)
 仕出地ハ日本内地ナリ
 (b) 製造

外 務 省

製造者	工場所在地	品名	数量	換算量	製造高	
					品名	数量
大正製薬株式会社	京畿道 高陽郡	阿片丁幾	一〇〇キログラム	一キログラム	一〇〇キログラム	一キログラム
		ダブル散	一キログラム	一キログラム	一キログラム	一キログラム
		阿片	一キログラム	一キログラム	一キログラム	一キログラム
		安息香丁幾	一キログラム	一キログラム	一キログラム	一キログラム
合計						

(赤 梓 紙)

製造工場
所 有 者 工場所在地

大正製薬株式会社 京畿道 高陽郡

品名 数量 換算量

阿片丁幾 一〇〇キログラム 一キログラム

ダブル散 一キログラム 一キログラム

阿片 一キログラム 一キログラム

安息香丁幾 一キログラム 一キログラム

合計

(c) 輸出ナシ
移出ナシ

(d) 醫薬用阿片國內消費量
醫薬用一八、八〇〇瓦

科學用 ナシ

外務省

(赤 梓 紙)

(a) 醫薬用阿片ノ使用又ハ所持シ得ル者「モルヒネ」ニ同シ
カカイン

(b) コカ栽培地ナシ

(c) 輸出、鹽酸コカイン〇、キログラム一四仕向地ハ支那ナリ

(d) 輸入ナシ

移入、鹽酸コカイン二三、キログラム〇六四仕向地ハ日本内地ナリ

(e) 製造ナシ

(f) コカインヲ使用又ハ所持シ得ル者「モルヒネ」ニ同シ

(g) 國內消費量

醫薬用 二三、キログラム九五〇瓦

科學用 ナシ

外務省

(イ) 阿片條約ノ適用アル其ノ他ノ藥品

(ロ) 輸入ナシ

移入、鹽酸エチールモルヒネ三、^{キロ}二二五、^瓦六二
六二
仕向地ハ日本内地ナリ

(ハ) 製造

製造工場所在地	品名	製造高
大正製藥 東京	磷酸コデイン	一、一三二
株式会社 高松	磷酸コデイン	一、一三二

(ニ) 國內消費量

醫藥用

磷酸コデイン三〇、^{キロ}二九四、^{キロ}二二五

(赤 枠 紙)

外 務 省

科學用ナシ

丙 雜

記載事項ナシ

(赤 枠 紙)

外 務 省

(赤 梓 紙)

一九二五年度阿片並危険藥品取引ニ關スル年報

甲 一般

(一) 阿片其他ノ危険藥品ノ取引ニ關シ新ニ公布改廢シタル法令及行政上ノ措置ナシ

(二) 輸出入取締

- 1、輸入證明書制度ハ完全ニ實施セリ
- 2、本制度實施上輸出入ニ關シ何等特殊ノ困難ナシ
- 3、本制度ヲ未タ實施セサル國トノ取引ニ關スル措置ハ一九二三
年報記載ノ通り

(三) 危険藥品ノ製造、販賣、分配、使用等ニ關スル國內取締

危険藥品ノ製造、販賣、分配、使用等ハ法令ヲ以テ之ヲ制限シ其

外 務 省

(赤 梓 紙)

取締ヲ勵行シ特ニ密輸出入ノ禁遏、阿片密吸食ノ防止ニ力ヲ竭シ居レリ

- 1、藥品使用習癖ノ傳播ナシ
- 2、法令實施上ノ困難ナシ
- 3、不正取引ノ根源、經路ハ一九二四年度年報記載ノ通り
- 4、不正取引ノ檢舉及處罰左ノ如シ

罪 名	件 數	處 罰 人 員	檢 舉 數 量	摘 要
阿片烟膏密輸入	九九	三七	二六九六三六	支那製
生阿片密輸入	二	一	二〇六二	・
阿片密賣買	二〇〇	二二五	四三六六〇六	密輸入品ノ賣買及 專賣品買付不合格 品ノ密賣(支那ニ密 輸出)

外 務 省

計
 1901
 1902
 1903
 1904
 1905

(赤
 粹
 紙)

外
 務
 省

乙 薬品別

(四) 生阿片

- 1、生産ナシ
- 2、輸入左ノ如シ

種類	数量	輸出 國	輸入 港
印度阿片	三、〇〇〇	印度	基隆
波斯	七一、〇二六	波斯	
土耳其	三、九三三	土耳其	
計	七八、一五八		

3、輸入シタル生阿片ハ臺灣總督府專賣局ニ於テ本島内ノ阿片烟
 吸食特許者ニ賣下タル阿片烟ノ製造ノミニ使用シ「モル

外
 務
 省

(赤
 粹
 紙)

（五）阿片烟

ヒネ」其他醫藥用ニ使用セラレタルモノナシ

- 1、制度上ノ變更又ハ禁遏促進ノ新措置ナシ
- 2、一九二五年中阿片烟 消費量四一、九九一斤
- 3、阿片烟 小賣價格ハ一九二三年報記載ノ通り
- 4、一九二五年末ノ吸食特許者三四、三五九人
- 5、一九二五年末在留支那人總數三一、三八〇人
臺灣人總數三、九二四、〇二四人
- 6、一九二五年度阿片烟 賣下ニ依ル歲入四、四五六、六九九圓
八〇〇ニシテ臺灣總歲入ニ對スル百分率ハ總歲入調査未了ニ
付不明

（赤 梓 紙）

外 務 省

（六）「モルヒネ」

- 1、輸入ハ阿片令ヲ以テ禁ス
- 2、製造 右ニ同シ
- 3、輸 出
「モルヒネ」鹽七七八瓦支那國ニ輸出セリ
- 4、國內消費概量左ノ如シ
醫藥用「モルヒネ」（換算量）一五、四〇〇瓦
- 5、「モルヒネ」ヲ使用又ハ所持シ居ルハ一九二三年報記載ノ通
リ

（赤 梓 紙）

（七）「ヒロイン」

- 1、輸入ナシ

外 務 省

(赤
梓
紙)

2、製造ナシ

3、輸出

「ヘロイン」鹽二〇〇瓦支那國ニ輸出セリ

4、國內消費概量左ノ如シ

醫藥用「ヘロイン」鹽三〇、六〇〇瓦

5、「ヘロイン」ヲ使用又ハ所持シ居ル者ハ第(六)「モルヒネ」ノ資格者ニ同シ

(ハ)醫藥用阿片

1、輸入ナシ

2、製造ナシ

3、輸出左ノ如シ

外
務
省

(赤
梓
紙)

七五瓦支那國ニ輸出セリ

4、國內消費概量 一三、三〇〇瓦

5、醫藥用阿片ヲ使用又ハ所持シ居ル者ハ第(六)「モルヒネ」ノ資格者ニ同シ

(カ)「コカイン」

1、「コカ」ノ栽培ハ一九二四年報記載ノ通り

2、輸出

粗製「コカイン」精製「コカイン」及コカ葉ノ輸出ナシ

「コカイン」鹽ノ輸出左ノ如シ

一・K 五二五支那國ニ輸出セリ

3、輸入ナシ

外
務
省

43

4、「コカイン」ヲ使用又ハ所持シ居ル者ハ第(六)「モルヒネ」ノ資格者ニ同シ

(イ)阿片條約ノ適用アル其他ノ藥品

「コデイン」鹽國內消費概量三〇、〇〇〇瓦

其他記載事項ナシ

(赤梓紙)

外務省

(赤梓紙)

一九二五年阿片並危險藥品取引ニ關スル年報

甲 一般

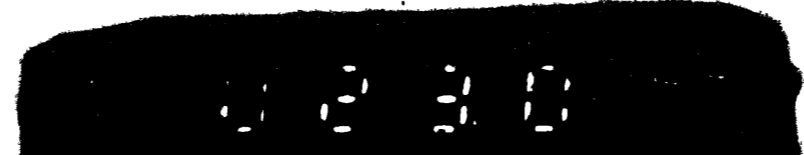
一 新ニ法令ノ制定改廢ヲ爲シタルモノナシ

監督上ノ措置トシテハ阿片其他麻藥類ノ取締ノ衝ニ當ル地方警察官吏ヲ召集シ取締ノ勵行ニ付協議セリ

ニ 輸出入取締

輸入證明制度ハ完全ニ之ヲ實施シ輸入許可ニ際シテハ日英兩文輸入證明書ヲ發給シツツアリ然ルニ右制度ニ於テ適法ニ輸入スル阿片ニ對シ印度禁制品積換規則、「ベルシヤ」灣規則(英國駐在武官制定)ニ拘束セラレ適法ノ輸入ニ對シ輸送上支障ヲ來スコトアリ

外務省



一、危険薬品ノ製造、販賣、分配、使用等ニ關スル國內取締ノ狀況
 ノ薬品使用習癖傳播ノ狀況ハ大正十年年報及其後ノ年報ニ於テ述ヘ
 タルカ如シ
 2、危険薬品ニ關スル法令實施上別ニ支障ナシ
 3、不正取引ノ根原、経路、大正十年年報ニ於テ述ヘタル處ト大差
 ナシ
 4、不正取引ノ檢舉及處罰
 阿片ノ取引ニ關シテハ警察官憲之ヲ取締リ違反者ニ對シテハ阿片
 令其他ノ法令ニ依リ嚴重處罰ス大正十四年ニ於ケル阿片ニ關スル
 犯罪並「モルヒネ」「コカイン」取締規則違反ハ左表ノ如シ

(赤 梓 紙)

外 務 省

罪 名	阿片ニ關スル罪		モルヒネコカイン規則違反		計	件 數	人 員			計
	州 内	州 外	州 内	州 外			日 本 人	支 那 人	外 國 人	
分 犯 罪 件 數	六 九	五 六 〇	一 〇 六	六 二 九	一 〇 六	六 九	一 〇 八	一 〇 八	一 〇 八	一 〇 八
檢 舉	六 九	五 二 〇	一 〇 八	五 八 九	一 〇 八	六 九	一 〇 八	一 〇 八	一 〇 八	一 〇 八
日 本 人	一 一 女	四 一 女	四 五 女	四 一 女	四 七 女	一 一	一 一	一 一	一 一	一 一
支 那 人	六 九 男	五 七 二 男	五 四 男	三 三 一 男	五 七 四 男	六 九	五 四	五 四	五 四	五 四
外 國 人	一 一 女	二 六 一 女	一 一 女	二 六 八 女	一 一 女	一 一	一 一	一 一	一 一	一 一
計	六 九	六 一 五	一 〇 八	六 一 四	一 〇 八	六 九	一 〇 八	一 〇 八	一 〇 八	一 〇 八

(赤 梓 紙)

外 務 省

(已 號 用 紙) 圖 納

乙 藥品別

四 生阿片

- 1、生産、常州ニ於テハ罌粟ノ栽培ナシ
- 2、輸入、大正十四年（一九二五年）

波斯阿片	三六〇〇〇斤	波斯	大連
土耳其阿片	三二〇〇〇斤	土耳其	大連
計	三八二〇〇斤		

- 3、藥用阿片製造用トシテ使用シタル生阿片六一斤
- 4、煙膏及藥用阿片製造用以外ニ生阿片ヲ使用シタルモノナシ
- 5、輸出ナシ

五 阿片煙膏

外 務 省

(赤 梓 紙)

- 1、制度ノ變更又ハ禁遏促進ノ爲新ニ採リタル措置ナシ
- 2、阿片煙膏製造用トシテ生阿片三三六八三斤ヲ販賣ス
- 3、阿片煙膏小賣價格、兩年報ノ通一斤金九十一圓三十二錢
- 4、吸煙者登記人員

大正十三年末ニ三二五一一人但シ山東方面ヨリノ出稼ノ苦力ノ總
者ハ全部未登記ナリシニ付其後調査登記シタルモノ五千二人アリ
合計ニハ二五二一人也

大正十四年末ニ九五一一人

- 5、關東州内在住支那人人口大正十四年末現在六六五九九〇人
- 6、阿片收入一五〇萬圓全歲入（國費地方費）ニ對スル百分率七
七%即七分七厘ニ相當ス

外 務 省

六、七、八、九、十、ハ左表ノ如シ

品名	輸入量	仕出地	製造	輸出
モルヒネ鹽	一、三、二、八、瓦	日本獨逸瑞西	ナシ	ナシ
ヘロイン鹽	六、七、一、二、瓦	日本獨逸	ナシ	ナシ
ハ藥用阿片	ナシ		六、一、〇、〇、〇、瓦	ナシ
ニコカイン鹽	一、八、三、六、〇、瓦	日本獨逸瑞西	ナシ	ナシ
十、其ノ他ノ藥品	一、六、七、六、〇、瓦	日本獨逸	ナシ	ナシ

十、十一、十二、十三、前年報ノ通

其ノ他特ニ記載スヘキ事項ナシ

外務省

(赤梓紙)

研-0324

拓一第七四八號

大正十五年十月七日

内閣拓殖局長里金泰義

外務次官出淵勝次殿

國際聯盟ニ提出スヘキ一九二五年度

阿片年報ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ八月二十四日附條三機密第五三九號ヲ以テ御申越ノ
處朝鮮總督府ヨリ別紙寫ノ通回答越候ニ付御了知相成度右及送付候
也

追テ臺灣總督府及關東廳ニ對シテハ目下督促中ニ付回答越次第通
報可致申添候

(赤
梓
紙)

外
務
省

研-0324

衛文第三二〇二號

大正十五年九月十四日

朝鮮總督府政務總監 湯淺倉平

内閣拓殖局長 黒金泰義殿

國際聯盟ニ提出スヘキ千九百二十五年阿片年報ニ

關スル件

八月二十八日附拓一第七四八號ヲ以テ御照會相成候首題ノ件ニ關シ
調査候處別紙ノ通ニ有之候條及回答候也

朝鮮總督府ヨリ提出ノ年報

(一)乙 藥品別

(A) 生産

(赤 梓 紙)

外 務 省

(赤 梓 紙)

粟栽培地面積 二四、八六〇「アール」

理由
一九二四年度ニ比シハ、二三五「アール」ノ激減ナルカ其ノ

朝鮮ニ於ケル阿片ノ製造ハ曩ニ歐州戰亂ノ際藥品ノ市價暴騰
ニ伴ヒ一時的ノ投機熱ニ浮サレ急劇ナル増加ヲ爲シタルモ大
戰ノ終熄ト共ニ物價平調ニ歸シ阿片ノ價格下落スルト共ニ賠
償價格ヲ漸次引下ケタルト地味肥沃ナル南鮮地方ニ在リテハ
對抗作物ニ比シ利益少ナキ製法ノ不熟練ナルカ爲失敗ニ終ル
者多ク栽培者漸次減少シ現時ニ在リテハ阿片製造ニ經驗アル
咸鏡南北道及黃海道等ノ輿地ニシテ他ニ何等代用作物ナキ地
ノミニ於テ製造シ殆ト之等ノ地方ニ於ケル生業トナレリ然ル

外 務 省

ニ之カ製造ノ許可及取締ハ主トシテ警察官署ニ於テ其ノ取扱
 チ爲セルカ爲其ノ職能トシテ指導獎勵ヲ爲サス寧口制限取締
 ニ偏重セシカ爲漸次其ノ人員及面積ヲ減少セリ今大正八年以
 降ノ面積ヲ掲クレハ左記ノ如シ

(赤 梓 紙)

外 務 省

(赤 梓 紙)

年 次	栽培人員	栽培面積
一九一九年	六、九八四	二二八、九二二 アール
一九二〇年	一九八	九、三九七
一九二一年	一、二五〇	四四、九一九
一九二二年	一、一三四	四四、七三八
一九二三年	一、〇一二	三六、四六二
一九二四年	八五九	三三、〇九五
一九二五年	六四七	二四、八六〇

右ノ如ク大正十年以降年ト共ニ減少シ一九二五年ニ於テハ前
 年ニ比シ八、二三五アールノ減少ヲ見ルニ至レリ

(二) 一九二四年度ノ生阿片ノ殘高ニシテ一九二五年度ニ繰越消費セ

外 務 省

ラレタル数量 四九二、八五八瓦

(三) 製薬用ニ使用セラレタル生阿片ノ数量及種類中ノ「其ノ他ノ
 醫藥」用トシテ一四、九一三瓦ヲ消費セルカ其ノ内譯藥品名
 ナ舉クレハ左ノ如シ

品名	数量	生阿片使用量
阿片丁幾	一〇〇、六九九瓦	一三、〇七〇瓦
ドーフル散	一三、六〇八	一、七二六
阿片安息香丁幾	一九、五〇四	一一七
計		一四、九一三

(四) 内モルヒネ

(A) 輸入

(赤 梓 紙)

外 務 省

鹽酸「モルヒネ」移入量ハ再調ノ結果二、八八四瓦
 ニ付訂正セラレ度

「モルヒネ」含有製劑ノ内譯

名稱	數量	鹽酸モルヒネ含有量	純モルヒネ換算量
鹽酸モルヒネ注射液	三六八七〇管	三六八七〇瓦	二七二〇六瓦
鹽酸モルヒネ錠	一九〇五〇錠	九五二五	七〇二九
ナルコボン末	二五五〇瓦	二二七五〇〇	九四〇八二
注射液	一九〇八〇管	一九〇八〇	一四〇七九
錠	一八〇〇錠	九〇〇	六六四
バントボン末	七三七〇瓦	三六八五〇〇	二七一九一六

(赤 梓 紙)

外 務 省

品名	仕向先		大連	間島	奉天	移出	東京	計
	大連	間島						
鹽酸モルヒネ				七〇				七〇
ネ								
パントポン注射液	三三六〇管	一二〇管						三四八〇管
パントポン注射液	四七七六管	一二〇管						三〇五五五管
スポンジ注射液								
ナルコポン	一〇〇瓦	四五〇瓦			一四五〇瓦		三七七三瓦	五七七三瓦
末パントポン	二八〇瓦							二八〇瓦

外務省

(赤枠紙)

パントポン注射液	五六八一〇管	四一九二〇
パントポン錠	二〇〇〇〇錠	七三、七五
ナルコポン液	一六二〇〇管	二三九〇八
コボラミン液	一九二〇瓦	二八三四
コボラミン液	三〇〇管	二七六七
スバスマルギン末	六〇〇〇管	五五三
スバスマルギン注射液	一〇二〇〇錠	九四一
計	六七一三〇〇	四九五三、七四

外務省

(赤枠紙)

デシビウム	モルフェチン末	モルフェチン注射液	モルフェチン注射液	鹽酸コカイン注射液	鹽酸モルヒネ注射液	ナルコポン錠	ナルコポン注射液	ギンスマルキン注射液	スバスマルキン注射液
								六〇管	
							一二〇管		
四八二五	二三八五	一九一〇	一九一〇	三九九〇	一七三四	六〇〇錠	一九九一七	一〇三七	六〇管
瓦	瓦	管	管	管	管	錠	管	管	管

(赤
梓
紙)

外
務
省

(赤
梓
紙)

備考 東京ニ移出シタルモノハ支店ヨリ本店ニ返送セルモノナリ

(五) ヘロイン(チアセチール モルヒネ)

(A) 移入

鹽酸ヘロイン移入量ハ再調ノ結果一、四四七、五ナリ

(B) 輸出数量五〇瓦ノ仕向地ハ支那間島ナリ

(六) 醫藥用阿片

移入數量醫藥用阿片一、〇〇〇瓦ハ一〇、〇〇〇瓦ノ誤記ニ付訂正アリタシ(本調査ハ全部歷年ニ依ル)

阿片含有製劑七、一八九瓦ノ内譯左ノ如シ

外
務
省

(赤 梓 紙)

薬品名	数	量	含有阿片量
阿片丁幾	四〇、四五〇瓦		四、〇四五瓦
ドーフル散	二四、八七五瓦		二、四八七、五瓦
ドーフル錠	六、〇〇〇錠		一八〇、〇瓦
デシビウム	二、五〇〇錠		二五〇、〇瓦
阿片吐根錠	三、〇〇〇錠		一五〇、〇瓦
計			七、一一二、五瓦

備考 再調ノ結果含有阿片量七、一一二、五瓦五ニ付訂正セラレタシ

(七) (九) コカイン

(B) 輸出鹽類コカイン一四瓦ノ仕向地ハ全部支那間島ナリ

外 務 省

(赤 梓 紙)

(D) 移入鹽類コカインノ數量ハ再調ノ結果二二、三四一瓦五ナリ		
(H) 阿片條約ノ適用アル其ノ他ノ藥品		
(O) 移入ノ磷酸コデインノ數量ハ二九、一七二瓦鹽酸エチール モルヒネノ移入數量ハ再調ノ結果三、二二五瓦ナリ		
(九) 一九二五年度中ニ於ケル阿片其ノ他ノ藥品ノ沒收數量左ノ 如シ		
品 名	數	量
阿 片	二〇六、六五八瓦	
モルヒネ及其ノ鹽類	四、一六〇	
コカイン及其ノ鹽類	四九九	

外 務 省

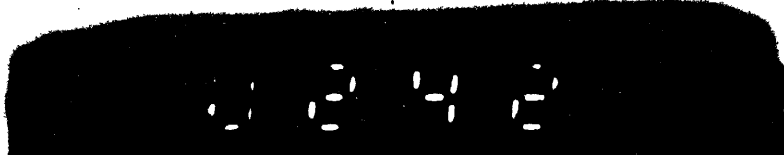
3

没收藥品中ニハ日本藥局方ニ適合セサルモノ多シ

(赤
梓
紙)

外
務
省

研-0324



衛文第三二五九號

大正十五年九月九日

朝鮮總督府政務總監

內閣拓殖局長 殿

第八回阿片諮問委員會ノ經過報告書ニ
關スル件

九月一日附拓一第二六九九號ヲ以テ御照會相成候首題ノ件ハ左記ノ
通ニ有之候條及回答候也

記

一 朝鮮ニ於ケル生阿片ノ産額ニ關スル印度委員ノ質問
朝鮮ニ於テハ目下咸鏡南北道及黃海道等ノ輿地ナル高原地帶罌

(赤 榨 紙)

外 務 省

(赤 榨 紙)

粟ノ栽培阿片ノ製造ヲ許可セリ之等ノ地方ハ氣候寒冷ニシテ
主トシテ高山植物ヲ産シ農産物ノ如キモ燕麥又ハ馬鈴薯ノ外
何等ノ生産ナキ地方ニシテ罌粟ノ生育甚不良ナルヲ以テ阿片
ハ年報記載ノ如ク其ノ産額僅少ニシテ到底印度等ノ生産額ニ
及ハス

二 殊ニ最近數年來旱魃及水害交々至リ産額甚シク減少セリ
其ノ他本報告中朝鮮總督府ニ關係アル事項ナシ

外 務 省

九
二
四

拓一第七四八號

大正十五年十月九日

内閣拓殖局長 黒金泰義

外務次官 出淵勝次殿

國際聯盟ニ提出スヘキ一九二五年度阿片年報
ニ關スル件

八月二十四日附條三機密第五三九號ヲ以テ御申越相成候首題ノ件ニ
關シ臺灣總督府ヨリ別紙ノ通回答有之候ニ付右御了知相成度候也

(赤
梓
紙)

外
務
省

(赤
梓
紙)

別紙

乙、藥品制

(一) (1) 四一九二五年度生阿片ノ輸入カ一九二四年度ニ比較シテ倍加シ
タル理由

右ハ主トシテ購入時期竝ニ在庫關係ヨリ來タルモノニシテ即チ
一九二三年度末ニ於ケル在庫ハ一八、三三三斤ニテ一九二四年
度末ニ於テハ一、二八、九七五斤ニシテ在庫ニ不足ヲ來タシタ
ルヲ以テ之カ補充ノ意モアリ又購入ハ各年ノ會計年度末ニ於ケ
ル繰越殘高及次年度ノ阿片烟膏製造高ニ對シ豫算關係ヲ考慮シ
買付數量ヲ算出購入スルモノナルニ依リ之ヲ曆年ノ十二月末ニ
テ購入高ヲ示ス(阿片年報掲載ノ如ク)トキハ右ノ如ク數量ニ

外
務
省

倍加チ來タスカ如キ數字トナルコトアルモ之ヲ會計年度末ニテ
購入高チ示セハ左ノ如ク六千餘斤ヲ増加セルニ過キス

年 度	購 入 高
一九二四年度 (自一九二四年四月 至一九二五年三月)	九七三三九斤
一九二五年度 (自一九二五年四月 至一九二六年三月)	一〇三三一三斤ニシテ
(2) 一九二四年末ノ生阿片ノ殘高ニシテ一九二五年度ニ繰越消費セ ラレタル數量及一九二五年度末ノ殘高	
一九二四年末殘高	一九二五年度ニ繰越 消費サレタル數量
一一三三八九斤七五	八六七七二斤
	一六六三六二斤 七五

外 務 省

(赤 梓 紙)

(二) 阿片烟膏

一九二五年度吸食特許者數ノ減少内譯左ノ如シ

死 亡	三四九〇人
廢 烟	一五九人
失 踪	二九八人
計	三九二七人

備 考

(一) 失踪ノ多キハ三ケ年以上行衛不明ノ者ハ失踪ニ準シ取扱フコ
トトセルカタメナリ

(二) 照會減數ニハニセ人トアルモニ九ニセ人ナリ

(三) 「モルヒネ」及(四) 「ヘロイン」移入數量左ノ如シ

外 務 省

鹽酸モルヒネ	九二五八瓦
鹽酸ヘロイン	二六一二瓦
モルヒネ含有製劑ノ移入左ノ如シ	
品名	モルヒネ換算量
パントポン	五四七瓦
ナルコポン	五五三
ドーフル散	一、〇〇九
計	二、五〇九
備考	
パントポンニハパントポン注射液同スコボラミン注射液ヲ含ムナルコポン亦同シ	

(赤 梓 紙)

外 務 省

四(八)醫藥阿片含有製劑ノ移入左ノ如シ	阿片丁幾	一、五八七瓦
五(九)「コカイン」		
(1)一九二五年度コカ葉生産高左ノ如シ	乾燥葉	七九七二五斤
	生葉	一、三二五斤
(2)一九二五年度コカ葉ノ移出高左ノ如シ		二、六八五九斤六八
(3)鹽酸「コカイン」ノ移出高左ノ如シ		一、一〇二、一三瓦
備考		

(赤 梓 紙)

外 務 省

(4) 「コカイン」鹽ノ輸出内譯左ノ如シ

數量	輸出先
二五〇瓦	福州博愛醫院
二五	支那福州南臺馬路 石原醫院
五〇〇	支那厦門木履街 藥種商中和成洋行 馬場五十次
七五〇	支那廣東 廣東博愛醫院
計一五二五	

義ニ提出ノ報告書ニハ輸出數量八〇瓦トセルモ右ノ通ニ御訂正相煩度

(赤 梓 紙)

外 務 省

(6) 阿片條約ニ規定セル其他ノ藥品

磷酸「コデイン」ノ移入數量	四四〇八瓦
鹽酸エチールモルヒネ移入數量	一三〇八瓦
(7) 一九二五年中ニ於ケル阿片及其他藥品ノ沒收數量左ノ如シ	
生阿片	一八一一八瓦
阿片烟膏	一三二五五瓦
阿片丸	一八七
鹽酸コカイン	一
鹽酸モルヒネ	二八
其他	一五七

(8) 義ニ提出年報ニコデインノ輸出脱漏ニ付左ノ通御記入相煩度

(赤 梓 紙)

外 務 省

研-0324

外務省

計	数量	輸出先
1,410	1,410	支那廣東博愛醫院
		支那福州南臺馬路 石原醫院
		支那廈門木履街 馬場五十次
		藥種商中和盛藥房

(赤枠紙)

(赤 梓 紙)

總警第二二五二號 大正十五年十月二十六日

臺灣總督府總務長官 後藤文夫

內閣拓殖局長 黒金泰義殿

第八回阿片諮問委員會ノ經過報告書送付等ニ
關スル件

本年九月一日附拓一第二六九九號首題ノ件ヲ以テ御照會相成候事項
別紙ノ通ニ有之候條御了知相成度此段及回答候也

外 務 省

(赤 梓 紙)

別紙

一 臺灣總督府ノ年報中輸入表ニ現ハシタル生阿片ノ仕向地ノ件
本件阿片ハ當府專賣局ニ於テ「サミュル」商會臺北支店ヲシテ納入
セシメタルモノニシテ同商會カ仕入地「ロンドン」ト申告セルニ依
リ輸出國英吉利西トナセルモノナリ然ルニ果シテ英吉利西ヨリ輸出
シタルモノニアラストセハ取引地ト仕出地トヲ混同セル取扱上ノ誤
謬ニ因レルモノト存スルモ同商會臺北支店ハ其ノ後廢止セラレタル
爲詳細ノ取調不能ノ状態トナリタルニ付該數量ノ阿片カ何レカノ國
ノ輸出統計ニ掲載セラルヘキ筈ナリ

二 「コカ」葉栽培ニ關スル件

本件ハ委員會ニ於ケル説明ノ如ク其ノ當時尙試驗的ノ時代ニアリテ

外 務 省

(赤 梓 紙)

生産量ノ如キモ統計ナシ然ルニ漸ク其成績良好ニ赴キ將來頗ル有望ニ付邇テ其ノ統計ヲ作製セリ左ノ如シ

年 次	生 産 量	使 用 別
一九二三	乾燥葉 五四三五六斤	コカイン製造 一七七一八斤
一九二四	八五六三〇	移 出 四二六三八斤
		三六〇〇ニ
		四七六二八

備考 本表ハ概數ヲ示スモノニシテ一九二二年前ハ調査不能ナリ

ニ 臺灣ニ輸入ノ「ヘロイン」ニ關スル件

本件質問ノ意味不明ナルモ當該年度ニ於テ臺灣ニハ輸入ナキヲ以テ輸入ハ移入ノ意ナルヘク而シテ一九二二年度ノ移入數量カ年報ニ掲

外 務 省

(赤 梓 紙)

載セラレシテ一九二三年度ニハ掲載セラレタル爲一九二三年度ノ移入數量カ多量ナリト云フ意カ又ハ單ニ一九二三年度ノ需要量カ多量ナリト云フ意ナルヘシ果シテ然リトセハ一九二二年度ノ移入數量ハ一六斤七四三ニシテ一九二二、三年度ノ消費量ハ當該年報記載ノ如シ

四 星ノ阿片事件ニ關スル件

本件ニ關スル控訴審ノ内容ハ曩ニ通報ノ通ニシテ九月十四日高等法院上告部ニ於テ各被告ハ無罪ノ判決アリ其内容別紙ノ如シ

外 務 省

11

(赤
梓
紙)

國際聯盟ニ提出スヘキ一九二五年度阿片年報ニ關
スル質問事項

乙 藥品別

一(四)生阿片ノ一九二五年度ノ輸入數ハ一九二四年度ノ數量ニ比較シ
非常ナル増加ナルカ其ノ理由尙一九二四年末ノ殘高ニシテ一九二
五年度ニ繰越シ消費セラレタル數量及一九二五年末ノ殘高
ニ一九二四年度阿片煙膏製造用トシテ販賣ノ生阿片一七、三二八担
ニ對シ一九二五年度ニハ三三、六八三担ヲ販賣セルカ右販賣高激
増ノ理由

當州癮者數ハ大正八九年閣議決定ニ依リ新ナル癮者ノ吸煙ハ絶對ニ
之ヲ許可セサリシモ一九二四年九月阿片令ヲ實施シ阿片制度ヲ變革

外
務
省

(赤
梓
紙)

シ阿片ノ不正取引密吸煙者等ノ取締ヲ嚴重ニ爲スト同時ニ從來ノ密
吸煙者ニシテ阿片ヲ吸食スルニ非サレハ身神ノ平衡ヲ保持シ能ハサ
ル所能癮者ニ對シ新ニ吸食ヲ許可シタル際一九二五年度ニ於テハ從
來ノ癮者數ニ比シ約十倍ニ激増セリ從テ同年度ニ於ケル輸入及販賣
數量ニ増加ヲ來シタリ

一九二四年末殘高ニシテ一九二五年度ニ繰越シ消費シタル數量ハ一
九三〇担ニシテ一九二五年度末殘高ハ八、二六七担ナリ

三(六)(七)(八)ノ各藥品ノ輸入仕向地ハ日本瑞西獨逸トナリ居レルカ右
各國別ノ數量

四(十)其ノ他ノ各別ノ品名數量並其ノ仕出地
三(四)別表ノ註

外
務
省

201

一九二五年度ニ於ケル阿片及其ノ他藥品沒收數量

- 1、阿片 一八二〇 匁
- 2、モルヒネ 三六 匁
- 3、コカイン 二 匁
- 4、其ノ他 ナシ

(赤 梓 紙)

外 務 省

一九二五年中輸入ヲ許可シタル麻薬數量調

輸 出 地	藥 品 名	獨 逸	瑞 西	日 本	計
	モルヒネ鹽	五,000	五,000	三,二八	一三,二八
	コカイン鹽	一,000	一,六二〇	一,一六〇	三,七八〇
	ヘロイン鹽	六,一四〇	一	五,六二	一一,七六二
	コデイン鹽	九,二五〇	一	六,九三〇	一六,一八〇
	ホルコボン	一	一	五八〇	五八〇

(赤 梓 紙)

外 務 省

研-0324

關衛第一三五四七號ノ二

大正十五年十月二十一日

關東長官伯爵兒玉秀雄

内閣拓殖局長黒金泰義殿

第八回阿片諮問委員會ノ經過報告書送付
等ニ關スル件

九月一日拓一第二六九九號ヲ以テ御照會相成候標記ノ件左記ノ通ニ
有之候條及回答候也

記

一 大連ニ於ケル麻藥類不正取引ニ關スル件

麻藥類ノ不正取引ニ關シ極力之カ取締ヲ勵行ス殊ニ大連ニ於ケル

(赤 梓 紙)

外 務 省

(赤 梓 紙)

密輸入ノ檢舉ハ最モ俊嚴ニ之ヲ爲シ現品ヲ發見押收シ相當ノ成績
ヲ舉ケツツアルモ犯人ヲ檢舉スルコト少キハ當方ニ於テモ遺憾ト
スル處ナリ近來密輸入ノ方法ハ頗ル巧妙ヲ極メ船荷證券ニ依リ轉
々賣買シ證券記載ノ荷受人實在セス現品ハ埠頭倉庫ニ置キ容器其
ノ他ノ記載モ普通品ノ如ク裝ヒ搜查ノ手懸ヲ困難ナラシムルモノ
アルモ一層最善ノ方法ヲ講スルコトニ努力スヘシ密輸入ニ對スル
英國側ノ情報ハ常ニ物件ニ對スルモノノミニシテ犯人及其ノ關係
者ニ關スル情報ヲ缺キ搜查上困難ヲ感スル處ナルヲ以テ之等ニ對
スル情報ヲ得ルコトニ致シ度シ

一 鈴木商店大連支店カ阿片ノ密輸入ニ關係セリトノ風説ノ眞偽當廳
管内ニ於テ鈴木商店大連支店カ阿片ノ密輸入ニ關係シタルコトナ

外 務 省

(赤 粹 紙)

客年新聞雜誌等ニ同支店ノ阿片不正事件ヲ記載シタルモ右ハ同支
店ヲ解雇セラレタルモノノ中傷ニシテ調査ノ結果事實無根ナリキ
ニ大連ニ於ケル藥劑師又ハ藥種商ニ非サル *Kragh*ニ發給セル麻藥輸入許
可證ノ件
外國人ニ對シ麻藥類ノ輸入ヲ許可シタルモノナシ從テ客年五月大
連在住 *Kragh* ナル者ニ大連警察署ニ於テ鹽酸、モルヒネ及鹽酸ヘロイ
ンノ輸入許可證ヲ發給セリト云フモ右ノ事實ナク何等カノ間違ナ
ルヘシ

外 務 省

研-0324

2
1
乙乙乙乙
乙乙乙乙



一九二五年度 阿片並花柳毒薬品ノ取引ニ関スル年報 (内地)

阿片取引年報 (一九二五年)

甲一般

(一) 新ニ法律、規則ノ公布セラレタルモノナシ

行政上ノ措置トシテハ阿片其他ノ危険ナル薬品類取締ノ衝ニ當ル
地方技術官ヲ召集シ取締ノ勵行ニ付協議シタリ

(二) 輸出入取締

輸入許可ニ際シ輸入許可證ト共ニ英文輸入許可證明書ヲ發給
而シテ右制度實施上

(a) 及 (b) 別ニ困難ナル事情ナシ

輸入證明書制度ヲ未タ實施セサル國トノ地引ニ際シテハ之ヲ實施

阿片年報

(已 號用紙) 圖納

外務省

セル國ト否トチ問ハス輸入ニ際シテハ英文輸入許可證明書ヲ發給
シ輸出ニ關シテハ輸入國官憲ノ認證アルモノニ就キ審査ノ上許可
ヲ與ヘ居レリ

(三) 危險藥品ノ製造、販賣、分配、使用等ニ關スル國內取締ノ狀況

本邦内地ニ於テハ藥品使用癮ノ傳播ナク尙取締法規ノ實施ニ關シ
テハ一九二一年年報記載ノ通り本省ニ於テハ取締ノ勵行ニ注意シ
又密輸出ノ禁遏ニ努メ居レリ

一九二五年中
シテ起訴セラレタル
法令違反ヲ對スル起訴科刑ニ關シ一九二五年内本省府縣申リノ報
告ニ係レキ者ヲ在リ如シ

検査件數

検査小單

犯罪起訴事件數 〇七 件ナリ

(已 號用紙) 圖納

外務省

4

合計 200,500,000		土身丸	樽漬
87,000,000		マルセーユ	
113,500,000		スマイルナ	
(c) 製薬用ニ使用セラレタル數量			
(1) モルヒネ、ヘロイン、チオニン及燐酸コデインの製造ニ使用シタル阿片	1,663,000		
(2) 醫薬用阿片製造ニ使用シタル阿片	10,139,397		
(3) ナルコボン其他ノ製造ニ使用シタル阿片	3,338,477		
(d) 製薬用以外ニ使用セラレタルモノナシ			

外務省

(已號用紙) 園納

3

乙藥品別		(四) 生阿片	
(a) 生産		罌粟栽培地面積 47,700 (町反畝 歩)	
生産數量		3,613,363	
モルヒネ平均含有量		1.846%	
(b) 輸入		3,846,800	
數量	種類	輸出港	輸入港
447,800	土耳其	ボートサイド コシスタン ノーブル	横濱

外務省

(已號用紙) 園納

6

(六) モルヒネ

(a) 輸入

(1) 及 (2) キルヒネ及モルヒネ鹽ノ輸入ナシ

備考

中華民國海軍總司令公署所要ノ鹽酸ヘロイン製造ノ委託ニ依リ大阪府下精華製藥株式會社并於テ鹽酸キルヒネ九三〇^K〇^〇ヲ獨逸ヨリ輸入シ之ヲ鹽酸ヘロインニ轉換セリ

(2) ^Kモルヒネ含有製劑輸入數量 卅、〇〇〇。

藥品名	モルヒネ換算量仕出國
バントボン粉末	瑞西
バントボン注射液	〇、八〇〇 ^K

外務省

(已號用紙) 圓納

5

(e) 生阿片ノ輸出ハ許可セス

(五) 阿片煙

一九二一年年報記載ノ通り

外務省

(已號用紙) 圓納

研-0324

8

22
7
13

品名		モルヒネ含有製剤輸出数量	モルヒネ換算量仕向地
鹽酸モルヒネ注射液	00048	00048	支那
合計	00048	00048	關東州

(1) 鹽酸モルヒネノ輸出數量
數量 仕向地
461 支那
0051 關東州
合計 512

(2) モルヒネ含有製剤輸出數量

外務省

(已號用紙) 圓納

7

22
7
13

製造工場名	所在地	モルヒネ鹽製造高	モルヒネ換算量
三共株式會社	東京	34525	34525
星製藥株式會社	大阪	103830	103830
大日本製藥株式會社	大阪	51381	51381
合計		189685	189685

(1) スパースマルギン 粉末 1120 瑞西

(2) ジュポバン 0500

合計 7500

外務省

(已號用紙) 圓納

研-0324

ナルコボン、アトロピン注射液	スパースマルギン液	注射液	スパースマルギン錠	ラウダノン錠	エキスペクト錠	パントボン注射液	パントボン錠
000000	000000	000000	000000	000000	000000	000000	000000
朝鮮	朝鮮	朝鮮	朝鮮	朝鮮	朝鮮	朝鮮	朝鮮

外務省

(已號用紙) 園納

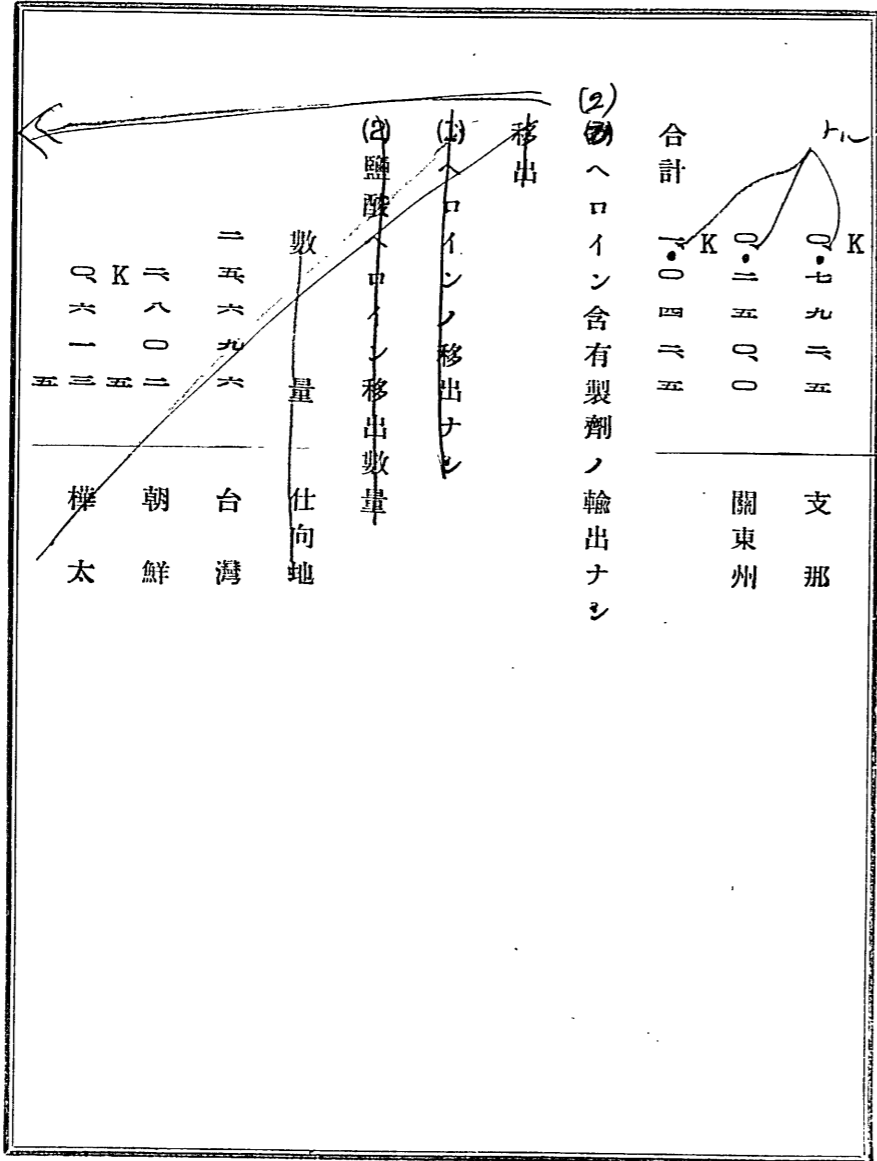
鹽酸モルヒネ注射液	鹽酸モルヒネ錠	パントボン末	パントボン液	パントボンスコポロ	アミン注射液
000000	000000	000000	000000	000000	000000
臺灣	朝鮮	臺灣	朝鮮	臺灣	臺灣

外務省

(已號用紙) 園納

研-0324

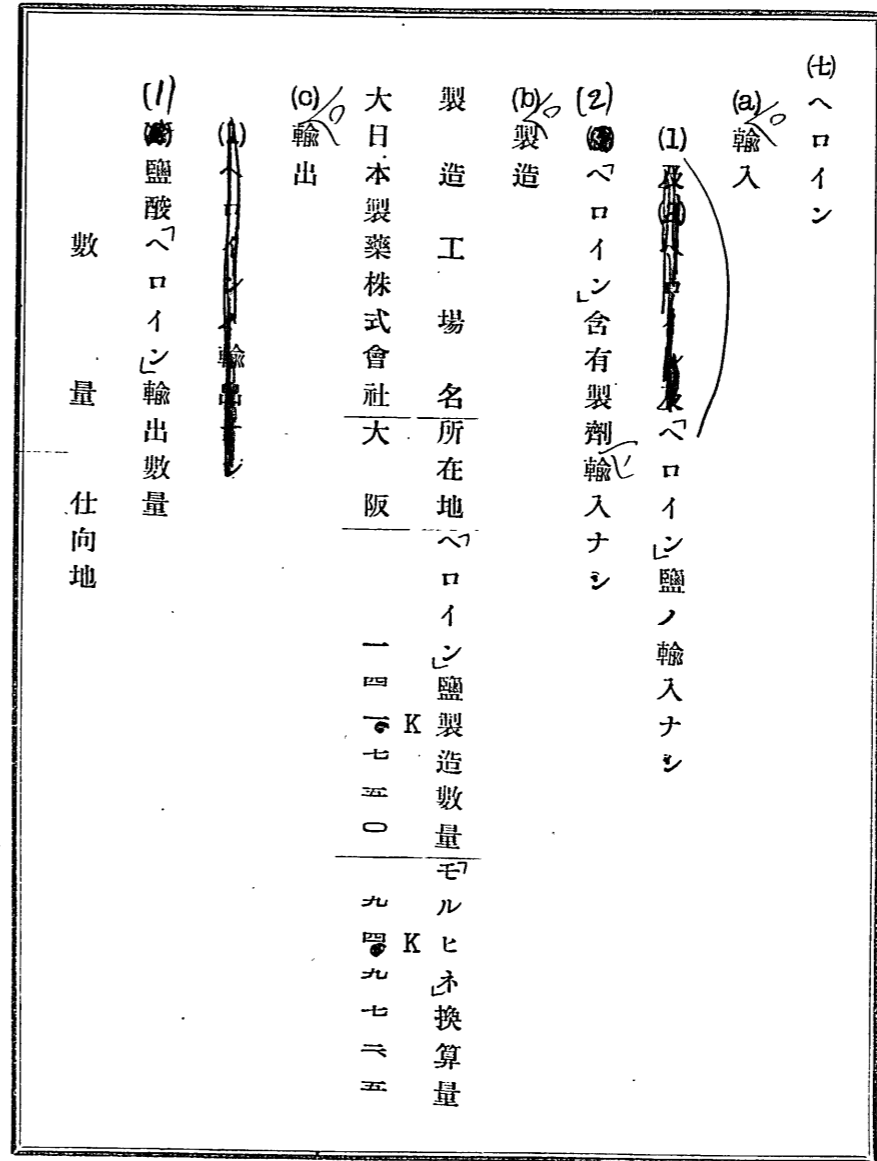
12



(已號川紙) 圖納

外務省

11



(已號川紙) 圖納

外務省

研-0324

13

(ハ) 醫藥用阿片

(a) 輸入

(1) 輸入

(2) 醫藥用阿片含有製劑輸入數量

(b) 製造

品名	醫藥用阿片換算量	モルヒネ換算量	出地
ドーフル散	二二四・九八四六	二・四九八四六	獨 國
阿片丁幾	一五八・七六〇〇	一五・八七六〇〇	英 國
	二六八・九〇五六	二六・八九〇五六	佛 國
	一〇・七〇〇〇	一・〇七〇〇〇	瑞 西
合 計	七六三・三五四二	七六・三三三〇	

(已 號 用 紙) 圓 納

外務省

合計 二九・一一二

(イ) モルヒネノ項ニ記載スル所ニ同シ

(ロ) 含有製劑移出

(ハ) 醫藥用阿片

(ニ) 輸入

(ホ) 製造

(已 號 用 紙) 圓 納

外務省

15

品名	(1) 醫藥用阿片含有製劑移出數量		(2) 醫藥用阿片換算量		仕向地
	數量	モルヒネ換算量	數量	モルヒネ換算量	
阿片丁幾	二・四・五・九・五	〇・〇・〇・〇・〇	二・四・五・九・五	〇・〇・〇・〇・〇	臺灣
阿片芳香酒	五・〇・〇・〇・〇	〇・〇・〇・〇・〇	五・〇・〇・〇・〇	〇・〇・〇・〇・〇	支那
合計	二・四・五・九・五	〇・〇・〇・〇・〇	二・四・五・九・五	〇・〇・〇・〇・〇	
品名	醫藥用阿片換算量	モルヒネ換算量	數量	モルヒネ換算量	仕向地
ドーフル散	三・一・六・〇・〇	〇・三・一・六・〇・〇	三・一・六・〇・〇	〇・三・一・六・〇・〇	朝鮮
阿片丁幾	一・七・〇・〇・〇	〇・一・七・〇・〇・〇	一・七・〇・〇・〇	〇・一・七・〇・〇・〇	臺灣
阿片丁幾	〇・〇・五・八・九・五	〇・〇・五・八・九・五	〇・〇・五・八・九・五	〇・〇・五・八・九・五	朝鮮
阿片丁幾	〇・〇・五・八・九・五	〇・〇・五・八・九・五	〇・〇・五・八・九・五	〇・〇・五・八・九・五	樺太

(d) 〇・三・一・六・〇・〇
モルヒネ換算量に記入する所と同じ

(1) 醫藥用阿片含有製劑移出數量

(2) 醫藥用阿片換算量

外務省

(已號用紙) 園納

14

品名	(1) 醫藥用阿片輸出數量ナシ		(2) 醫藥用阿片換算量		仕向地
	數量	モルヒネ換算量	數量	モルヒネ換算量	
ドーフル散	五・九・六・二・五	〇・五・九・六・二・五	五・九・六・二・五	〇・五・九・六・二・五	支那
合計	五・九・六・二・五	〇・五・九・六・二・五	五・九・六・二・五	〇・五・九・六・二・五	
品名	醫藥用阿片換算量	モルヒネ換算量	數量	モルヒネ換算量	仕向地
ドーフル散	五・九・六・二・五	〇・五・九・六・二・五	五・九・六・二・五	〇・五・九・六・二・五	支那

(1) 醫藥用阿片輸出數量ナシ

(2) 醫藥用阿片換算量

製造所名 所在地 製造數量

内務省 大阪衛生試驗所 大阪 一・一・四・一・〇・〇・〇・〇

モルヒネ換算量 一・一・四・一・〇・〇・〇

備考 右製造數量は瓶詰にして封緘し、施し場所を記載し得ルモノナリ

(1) 輸出

外務省

(已號用紙) 園納

研-0324

16

(九) コカイン

(a) コカ樹栽培者ナシ

(b) 輸出

(1) 粗製「コカイン」ノ輸出ナシ

(3) 鹽酸「コカイン」ノ輸出數量

數量	仕向地
三・四九五 K	支那
〇・一三五	關東州
合計三・六三〇 K	

移出

鹽酸「コカイン」移出數量

外務省

(已號用紙) 屬納

(九) コカイン

(a) コカ樹栽培者ナシ

(b) 輸出

(1) 粗製「コカイン」ノ輸出ナシ

(3) 鹽酸「コカイン」ノ輸出數量

數量	仕向地
三・四九五 K	支那
〇・一三五	關東州
合計三・六三〇 K	

移出

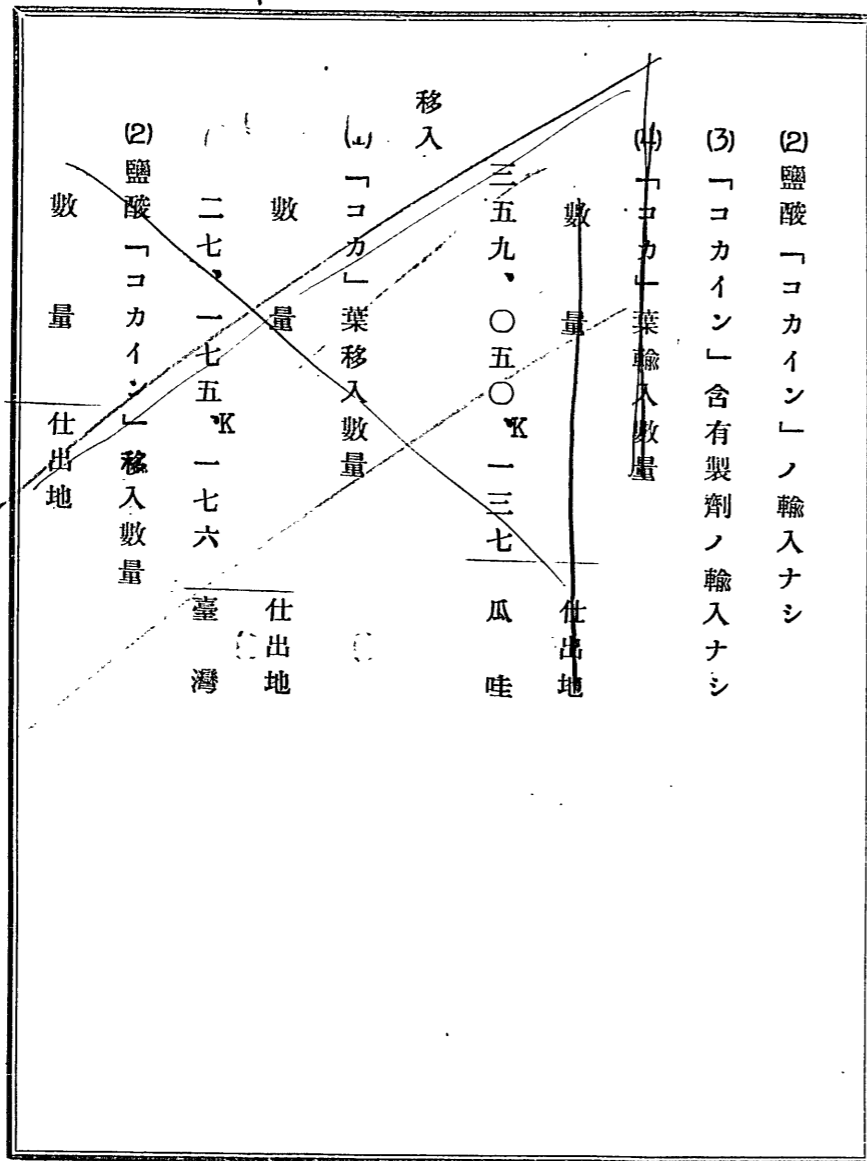
鹽酸「コカイン」移出數量

外務省

(已號用紙) 屬納

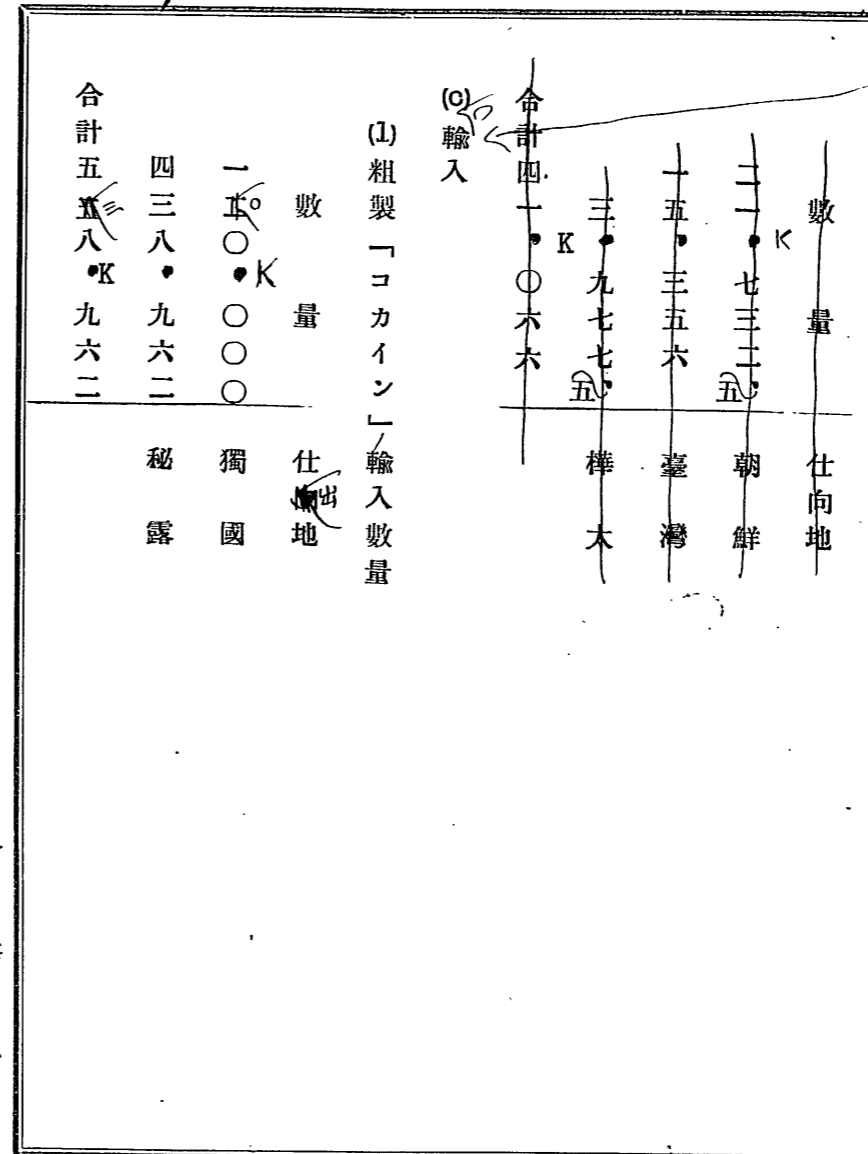
研-0324

18



(已號用紙) 園納

17



(已號用紙) 園納

研-0324

20

(a) 製造

(b) 輸入

薬品名	製造工場名	所在地	製造数量	モルヒネ換算量
ナルコボン	ラヂウム製薬株式会社	東京	五〇〇	二二〇〇
アロポン	大日本製薬株式会社	大阪	四〇八	一七九
解酸マオイ	三共株式会社	東京	一六	一六
鹽酸エチール	大日本製薬株式会社	大阪	三〇〇	三〇〇
モルヒネ			六三	三三
合計			一〇八四	四三九

外務省

0.4) = 10

(已號用紙) 圓納

19

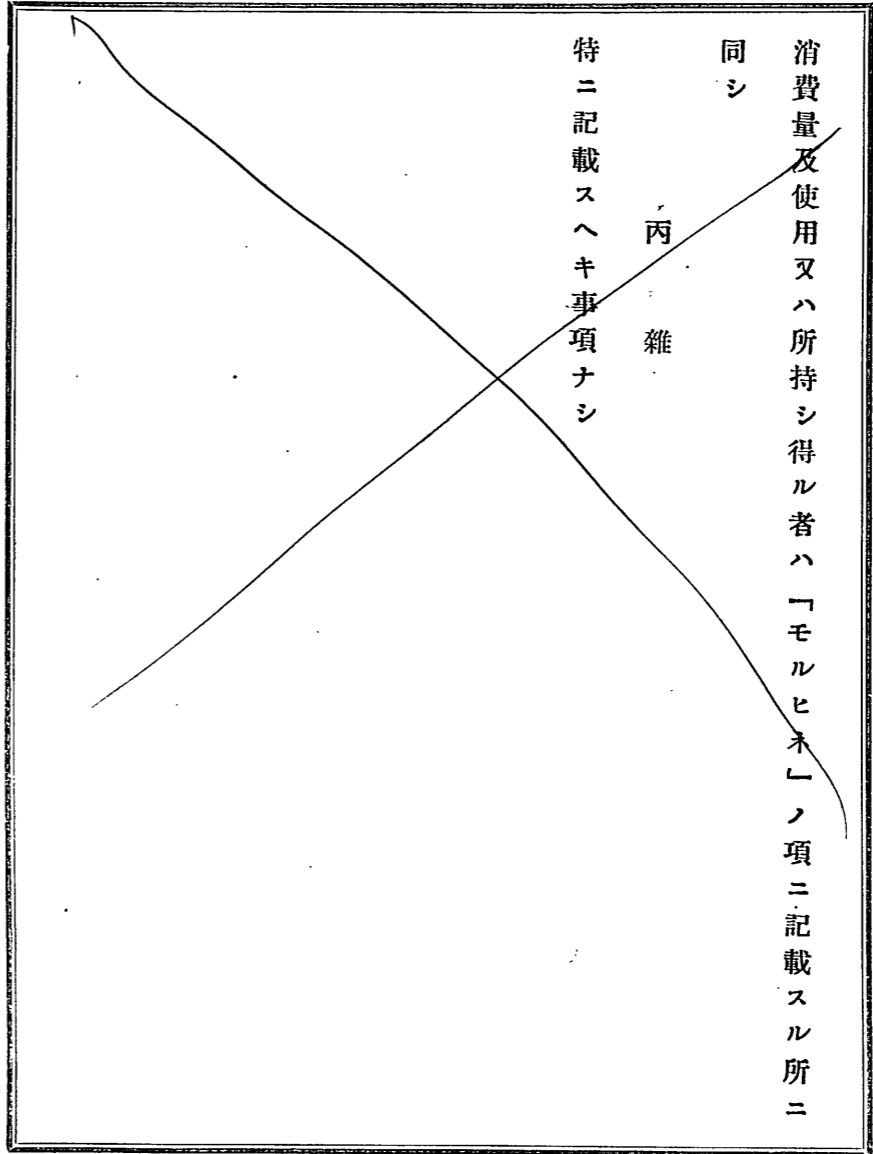
(c) 製造

一九一九年三月四日臺灣

製造工場名	所在地	「モルヒネ」ノ項ニ記載スル所ニ同シ	「カイン」製造高	「カイン」換算量
江東製薬株式会社	東京	一〇	一〇	一〇
星製薬株式会社	東京	一〇	一〇	一〇
三共株式会社	大阪	一〇	一〇	一〇
武田製薬株式会社	大阪	一〇	一〇	一〇
鹽野義商店製薬所	大阪	一〇	一〇	一〇
合計		五〇	五〇	五〇

外務省

(已號用紙) 圓納



研-0324

可通

二〇三〇
三
印

一九二五年度阿片並鴉片取締ニ關スル年報（朝鮮）

甲 一般

(一) 大正十四年中公布セラレタル法律、規則

朝鮮ニ於テハ大正八年以來一定ノ地域ヲ指定シテ阿片ノ製造ヲ許
可シ製造シタル阿片ハ政府ノ專賣ト爲シ悉ク朝鮮總督府ニ收納シ
「モルヒネ」其ノ他ノ阿片「アルカロイド」ヲ製造スル場合ニ限
リ本府ノ指定シタル製藥者ニ賣下クルコトトセシカ大正十三年行
政整理ノ際專賣ノ制度ヲ廢止シタルヲ以テ專賣以外ノ方法ニ依リ
之カ取締ノ徹底ヲ期セムカ爲大正十四年七月廿九日制令第一號及
府令第七十七號ヲ以テ朝鮮阿片取締施行規則及朝鮮阿片取締令ヲ
改正シ製造シタル阿片ハ指定ノ期日迄ニ必本府ニ提出セシメ本府

(已號用紙) 圓納

外 務 省

ニ於テ之カ鑑定ヲ爲シタル後一定ノ價格ニ依リ朝鮮總督ノ指定シ
タル製藥者ニ販賣セシメ現品ノ取引ヲ了スル迄本府之カ保管ノ責
ニ任スルコトトセリ而シテ阿片ノ提出ヲ爲ササル者ニ對シテハ二
年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ヲ科セララルモノトス

(二) 輸出入取締

阿片及阿片煙膏ハ絕對ニ輸入ヲ認メス其ノ他ノ麻藥ニ就テモ當分
ノ内其ノ輸入ヲ許可セサル方針ニシテ目下朝鮮内ニ於ケル醫療用
及學術用ニ使用セララルル數量ノマニ對シ僅カニ移入ヲ許可セルニ
過キス

(三) 危險藥品ノ製造、販賣、分配及使用等ニ關スル國內取締狀況一般
國內取締ハ阿片ノ製造ニ關シテハ一定ノ地域ヲ指定シテ適當ナル

外 務 省

者ニ之ヲ許可スルコトトシ乳液ノ採取、阿片ノ製造ニ當リテハ特ニ警察官吏ヲシテ之カ取締ノ任ニ當ラシメ製造シタル阿片ハ指定ノ期日迄ニ全部本府ニ提出セシメ更ニ第一項ニ記載シタル通本府ニ於テ其ノ鑑定ヲ爲シ指定製業者ニ販賣セシメ尙其ノ取引ヲ了スル迄本府ニ於テ之ヲ保管シ以テ不正ノ賣買及使用ノ虞ナカラシム而テ指定製業者ヲシテ右阿片「モルヒネ」其ノ他ノ阿片「アルカロイド」[※]ハ其ノ誘導體若ハ製品ノ製造ニ供セシメ尙右阿片ハ絶対ニ讓渡シ又ハ讓受クルコトヲ得サラシム而テ本年度ニ於テハ製造シタル阿片ヲ購買スヘキ製業者トシテ大正製業會社一社ヲ指定セリ

其ノ他麻藥類ノ販賣、分配及使用ニ關スル取締法ノ實施ニ關シテ

(已號用紙) 圓納

外務省

一九二四年
 大正十三年年度年報記載ノ通取締ノ勵行ニ留意シ又密輸入ノ禁遏ニ努メ居レリ

一九二五年
 大正十四年中阿片及麻藥類ニ關スル法令ニ違反シ檢査及處罰セラルル者ノ數

檢査セラルル件數
 八百三十三件
 犯罪人ノ數ハ四百三十八人

（手書）
 八百三十三件
 犯罪人ノ數ハ四百三十八人

(已號用紙) 圓納

外務省

外 務 省	第刑 一三六 條法	犯罪事實 適用法條	司法警察官ノ取扱ヒタルモノ 犯罪件數 檢察官ノ取扱ヒタルモノ 犯罪件數 犯罪人員 懲役 金額 留科料 未決
	二三	二三	三九
			九
			四
			一
			一

(b) 吸煙ニ關スル檢舉處罰人員百五人ナリ

(c) 阿片煙膏

(d) 製薬用以外ニ使用セラレタルモノナシ

(e) 輸出ナシ

(四) 生阿片

(a) 阿片煙ノ吸食ハ朝鮮ニ於テハ絶對ニ禁止シ居レリ

(b) 吸煙ニ關スル檢舉處罰人員百五人ナリ

種類	數	量	種類	數	量
朝鮮生阿片	六二	一四・四・五	朝鮮生阿片	四九	一四・九・一
イキ	一	一	イキ	一	一

(已號用紙) 園納

乙 藥品別

(四) 生阿片

(a) 生産

罂粟栽培地面積 生産額

二四八六〇アール七四六五九六

モルヒネ含有率 一七% 〇四〇〇

(b) 輸入ナシ

(c) 製薬用ニ使用セラレタル生阿片ノ數量及種類ヲ舉ケルハ左表ノ如ク

種類	數	量
製薬用阿片	一	一
其ノ他ノ製薬	一	一

モルヒネ 醫薬用阿片 其ノ他ノ製薬

(已號用紙) 園納

(已號用紙) 園納

(d) ~~モルヒネ~~ 國內消費量
~~醫藥用~~
~~科學用~~

(e) 「モルヒネ」ヲ使用又ハ所持シ得ル者
 醫師、醫生、齒科醫師、藥劑師、藥種商、製藥者並業務上又ハ學術上之ヲ必要トスル者

(f) 「ロイソ」(デアセチールモルヒネ)

(g) 輸入ナシ

(h) 輸出、鹽酸デアセチールモルヒネ
 〇・〇五〇
 中瓦仕向地ハ支那ナリ

外務省

(已號用紙) 園納

(c) 製造、鹽酸デアセチールモルヒネ
 〇・〇五〇
 國內消費量
~~醫藥用~~
~~科學用~~

(d) 「ロイソ」ヲ使用又ハ所持シ得ル者「モルヒネ」ニ同シ

(e) 醫藥用阿片

(f) 輸入、ナシ

(g) 製造
 醫藥用阿片ノ製造數量
 醫藥用阿片ノ含有製劑ノ製造數量(モルヒネ換算量)左ノ如シ

製造數量	含有製劑
數量	數量
數量	數量
數量	數量
數量	數量

研-0324

外務省

金 額 付

(a) 輸出ナシ

製造工場所有者工場所在地	製 造 高	品 名 数	換算量	金額
大正製薬株式会社 東京都葛飾区	阿片十幾	10箱	10000	10000
	ピタル散	1箱	7000	0.136
	阿片安恵	1箱	0.000	0.0510
	香丁幾	1箱	17000	1.146
合計				17000

(b) 醫藥用阿片ヲ使用又ハ所持シ得ル者「モルヒネ」ニ同シ

(已 覽 用 紙) 圖 納

外務省

心系換算量	10000	0.136	0.0510	1.146
-------	-------	-------	--------	-------

(a) 輸入ナシ

(b) 製造 ナシ

(c) 国内消費量

製造工場所有者同所在地

大正製薬株式会社 京都 嵯峨野

品名 製造高

名数 量

硫酸コカイン

硫酸コカイン

科学用ナシ

丙 雜

(已 號 用 紙) 圖 納

外務省

(a) コカイン

(a) コカ栽培地ナシ

(b) 輸出、鹽酸コカイン

(c) 輸入ナシ

(d) 製造ナシ

(e) コカインヲ使用又ハ所持シ得ル者ハ「モルヒネ」ニ同シ

(f) 国内消費量

硫酸コカイン

硫酸コカイン

科学用ナシ

(f) 阿片條約ノ適用アル其ノ他ノ藥品

(已 號 用 紙) 圖 納

外務省

記載事項ナシ

(已
號
用
紙)
園
納

外
務
省

研-0324

廿三
通
三十一部

非花

(已號用紙) 圖納

一九二五年度阿片並危險藥品取引ニ關スル年報 (台灣)

甲 一般

(一) 阿片其他危險藥品ノ取引ニ關シ新ニ公布改廢シタル法令及行政上ノ措置ナシ

(二) 輸出入取締

1. 輸入證明書制度ハ完全ニ實施ス

2. 本制度實施上輸出入ニ關シ何等特殊ノ困難ナシ

3. 本制度ヲ未タ實施セサル國トノ取引ニ關スル措置ハ一九二三
年報記載ノ通ナリ

(三) 危險藥品ノ製造、販賣、分配、使用等ニ關スル國內取締

危險藥品ノ製造、販賣、分配、使用等ハ法令ヲ以テ之ヲ制限シ其

外務省

(已號用紙) 圖納

取締ヲ勵行シ特ニ密輸出入ノ禁遏、阿片密吸食ノ防止ニ力ヲ竭シ居レリ

1. 藥品使用習癖ノ傳播ナシ
2. 法令實施上ノ困難ナシ
3. 不正取引ノ根源、經路ハ一九二四年度報記載ノ通り
4. 不正取引ノ檢舉及處罰左ノ如シ

罪名	件數	處罰人員	檢舉數量
阿片烟膏密輸入	九九	二七二六	六六
生阿片密輸入	二	一	〇〇
阿片密賣買	二〇〇	二二五四	六六
計	三〇一	二六二〇	〇〇

捕要

支那製

支那ニ密輸出入

支那ニ密賣買

支那ニ密輸入

支那ニ密輸出

外務省

乙 藥品別

(四) 生阿片

1. 生産ナシ
2. 輸入左ノ如シ

種類	數量	輸出國	輸入港
印度阿片	三〇〇〇	印度	基隆
波斯阿片	一、二二六	波斯	基隆
土耳其阿片	三九三	土耳其	基隆
計	七、八一五		

3. 輸入シタル生阿片ハ臺灣總督府專賣局ニ於テ本島内ノ阿片烟膏吸食特許者ニ賣下タル阿片烟膏ノ製造ノミニ使用シ「モル

(已號用紙) 園納

外務省

(五) 阿片烟膏

4. ^{ヒネ}其他醫藥用ニ使用セラレタルモノナシ
1. 制度上ノ變更又ハ禁遏促進ノ新措置ナシ

2. 一九二五年中阿片烟膏消費量四一、九九一担ナリ
3. 阿片烟膏小賣價格ハ一九二三年報記載ノ通り
4. 一九二五年末ノ吸食特許者三四、三五九人
5. 一九二五年末在留支那人總數三一、三八〇人

臺灣人總數三、九二四、〇二四人ナリ

6. 一九二五年度阿片烟膏賣下ニ依ル歲入四、四五六九九圓八〇
〇、キシテ臺灣總歲入ニ對スル百分率ハ總歲入調査未ナリ付
不明

(已號用紙) 園納

外務省

(ハ) 醫藥用阿片
 1 輸入ナシ
 2 製造ナシ
 3 輸出左ノ如シ
 4 國內消費概量左ノ如シ
 醫藥用「ヘロイン」鹽 三〇、六〇〇瓦
 「ヘロイン」ヲ使用又ハ所持シ居ル者ハ第(六)「モルヒネ」ノ資格者ニ同シ

外務省

(已號用紙) 園納

(イ) 「モルヒネ」
 1 輸入 阿片令ヲ以テ禁ス
 2 製造 布ナ開シ
 3 輸出
 「モルヒネ」鹽 七七八瓦 支那國ニ輸出セリ
 4 國內消費概量左ノ如シ
 醫藥用「モルヒネ」換算量 一五、四〇〇瓦
 「モルヒネ」ヲ使用又ハ所持シ居ル者ハ一九二三年報記載ノ通り
 (ロ) 「ヘロイン」
 1 輸入ナシ

外務省

(已號用紙) 園納

〇〇七五五支那國ニ輸出セリ

本國内消費概量 ~~三〇〇〇〇~~

4 醫藥用阿片ヲ使糧又ハ所持シ居ル者ハ第(六)「モルヒネ」ノ資格者ニ同シ

(九) 「コカイン」

1 「コカ」ノ栽培ハ一九二四年報記載ノ通り

2 輸出

粗製「コカイン」^及精製「コカイン」^及葉ノ輸出ナシ

「コカイン」鹽ノ輸出~~ナシ~~

数量ハ ^K五三五ミテ其ノ任向地^{支那}

3 輸入ナシ

(已 號用紙) 圓納

外 務 省

(已 號用紙) 圓納

4 「コカイン」ヲ使用又ハ所持シ居ル者ハ第(六)「モルヒネ」ノ

資格者ニ同シ

(十) 阿片條約ノ適用アル其他ノ藥品

返ナシ 鹽國內消費概量 ~~三〇〇〇〇~~ 瓦

其他記載事項ナシ

外 務 省

二〇三〇
三十印

取道

一九二五年阿片並危險藥品取引ニ關スル年報

甲一般

伝

関東州

(已號用紙) 匯納

⇒ 新ニ法令ノ制定改廢ヲ爲シタルモノナシ

監督ノ措置トシテハ阿片其ノ他麻藥類ノ取締ノ衝ニ當ル地方警察官吏ヲ召集シ取締ノ勵行ニ付協議セリ

⇒ 輸出入取締

輸入證明制度ハ完全ニ之ヲ實施シ輸入許可ニ際シテハ日英兩文輸入證明書ヲ發給シソソアリ然ルニ布制度ニ於テ適法ニ輸入スル阿片ニ對シ印度禁制品積換規則、ハルシヤ灣規則、英國駐在武官制定ノ拘束セラレ適法ノ輸入ニ對シ輸送上支障ヲ來スコトアリ

⇒ 危險藥品ノ製造、販賣、分配、使用等ニ關スル國內取締ノ狀況

外務省

(已號用紙) 匯納

1、藥品使用習癖傳播ノ狀況ハ大正十年年報及其ノ後ノ年報ニ於テ述ヘタルカ如シ

2、危險藥品ニ關スル法令實施上別ニ支障ナシ

3、不正取引ノ根元、經路、大正十年年報ニ於テ述ヘタル處ト大差ナシ

4、不正取引ノ檢舉及處罰

阿片ノ取引ニ關シテハ警察官憲之ヲ取締リ違反者ニ對シテハ阿片令其ノ他ノ法令ニ依リ嚴重處罰ス大正十四年ニ於ケル阿片ニ關スル犯罪並モルヒホ、コカイン取締規則違反ノ件數ハ百七十五件、
犯罪人員ハ百七十七人

外務省

(四) 生阿片

乙 藥品別

1. 生産 當州ニ於テハ罌粟ノ栽培ナシ
2. 輸入 大正十四年(一九二五年)
3. 藥用阿片製造用トシテ使用シタル生阿片ハ六一莖ナリ
4. 煙膏及藥用阿片製造用以外ニ生阿片ヲ使用シタルモノナシ
5. 輸出ナシ

波斯阿片	三六〇〇〇 莖	波斯大連
土耳其阿片	三二〇〇〇 莖	土耳其大連
計	三八二〇〇 莖	

(已號用紙) 園納

外務省

次頁へつゞ

罪名	阿片ニ關スル罪		州外		州内		件數	檢	舉	員
	計	州外	計	州外	計	州外				
モルヒネ、コカイン規則違反	計 一〇六	州外 不詳	計 六二九	州外 五二〇	計 一〇八	州外 一〇八	四一	四一	一	一
阿片ニ關スル罪	計 一〇六	州外 不詳	計 六二九	州外 五二〇	計 一〇八	州外 一〇八	四一	四一	一	一
日本人	計 一〇六	州外 不詳	計 六二九	州外 五二〇	計 一〇八	州外 一〇八	四一	四一	一	一
支那人	計 一〇六	州外 不詳	計 六二九	州外 五二〇	計 一〇八	州外 一〇八	四一	四一	一	一
外國人	計 一〇六	州外 不詳	計 六二九	州外 五二〇	計 一〇八	州外 一〇八	四一	四一	一	一
計	計 一〇六	州外 不詳	計 六二九	州外 五二〇	計 一〇八	州外 一〇八	四一	四一	一	一

(已號用紙) 園納

外務省

(五) 阿片煙膏

1. 制度ノ變更又ハ禁遏促進ノ爲新ニ執リタル措置ナシ
2. 阿片煙膏製造用トシテ生阿片ニミ六八三莖ヲ販賣セリ
3. 阿片煙膏小賣價格ハ前年報ノ通(莖金九十一圓三十二錢)
4. 吸煙者登記人員
 一九二四年末ニミ二五一人但シ山東方面ヨリ出稼ノ苦力ノ吸者ハ全部未登記ナリシニ付其後調査登記シタルモノ五千人ナリ合
 計ニハ二五二人ナリ
 (一九二五年末ニ現在數)
 一九二四年末ニ九五二一人ナリ
 一九二五年末ニ九二一人ナリ
5. 關東州内在住支那人人口本正一四年末現在六六五九〇人ナリ
6. 阿片收入一五〇萬圓全歲入一國費地方費ニ對スル百分率ナ

(已號用紙) 圓納

外務省

品名	輸入量	仕出地	製造	輸出
(一) モルヒネ鹽	九七三二八	日本獨逸瑞西	ナシ	ナシ
(二) ヘロイン鹽	七七一	日本獨逸	ナシ	ナシ
(三) 藥用阿片	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ
(四) コカイン鹽	一〇三六〇	日本獨逸瑞西	ナシ	ナシ
(五) 其ノ他ノ藥品	一〇五八〇	日本獨逸	ナシ	ナシ

其ノ他特ニ記載スヘキ事項ナシ

九〇三三八

(已號用紙) 圓納

外務省

公 信 案

大正十五年三月五日 發受

(甲 號・用 紙)

126

文書課發送

大正十五年 發送月日 發送簿

淨書 (北)

正(原稿) (小室)

(淨書)

(發)

主 任 條約局長

主 任 條約第三課長

大正十五年十一月一日

附 屬 書

通



受 信 花巴里

人 名 宇佐美局長代

發 信 人 名 幣原大臣

件 名 英年報新訂一件

名 込 綴

Handwritten marks and numbers.

Handwritten note: 本館中...

Handwritten note: 印...

要 件

公 信 案

外 務 省

英年報新訂一件... 東廳部第五阿片煙膏(四)...

(乙 號 用 紙) 固 粘

一九三〇年十一月二十五日 新訂...

Table with multiple vertical columns, mostly empty.

外 務 省

研-0324

公 信 案

文書課長

大正十五年五月六日 接票

138

別紙

(甲號川紙)

文書課發送

大正十五年五月六日

淨書

正校(原稿)

淨書(吉)

主 任 主 任 條約第三課

大正十五年十二月十四日

三

普通 三九六八

大正十五年七月七日 附

附屬書 通

受 信

人 名

内務省 大正 通 後藤 見 五箇書 見 五箇書

發 信

出 岡 治 守

件 名

國際聯盟 提出 一九二五年 夜阿片年報 送付 一件

名 込 綴

年 報

一九二五年夜阿片年報別紙一通 今般 國際聯盟 提

出シ置キタルニ付 右ノ一部 宛送付ス

要 四

公 信 案

外 務 省

別紙 初文及苦文各一印 此 添附

夜阿片年報

(赤 梓 紙)

國際聯盟ニ提出スヘキ一九二五年度ノ阿片年報作
成ニ關スル件

一九二五年度ノ阿片年報ハ大体一九二四年度ノ年報作成ノ方針ニ依
リテ作成セルカ其ノ要旨左ノ如シ

一 移入及移出關係ノ數量ハ全部削除セリ

二 國內消費量ニ關スル數字ハ全部削除セリ

三 十モルヒネ含有製劑ニ付テハ總計ノミヲ掲ケ各別ノ統計ヲ掲ケ
ス

四 製薬用ニ使用セラレタル生阿片ニ付テモ三ト同様使用セラレタル

生阿片ノ總量ノミヲ掲ケタリ

五 燐酸「コデイン」ニ關スル數字ハ全部削除セリ

外 務 省

十月四日
夜阿片年報
提出

實際ノ輸入
額ヨリ算ス

六 「コカ」葉ノ輸入數量ハ削除セリ

七 鹽酸「コカイン」製造數量ノ算出ハ其年ニ於ケル「コカ」葉及粗製「コカイン」ノ輸入許可數量ニ其ノ收得率ヲ乗シタルモノナリ但シ收得率ハ

「コカ」葉ヨリ鹽酸「コカイン」ヲ製造スル場合ニハ
〇、三五%

粗製「コカイン」ヨリ鹽酸「コカイン」ヲ製造スル場合ニハ
四五%

「例」

星製藥株式會社ノ場合ニ於テハ大正十四年ニ於ケル許可數量ハ粗製「コカイン」
六一四、〇四〇キロ

(赤 梓 紙)

外 務 省

「コカ」葉 二七、〇六〇、〇〇〇ナリ

故ニ右數量ヲ各鹽酸「コカイン」ニ概算スレハ

即チ大正十四年ニ於ケル星ノ鹽酸「コカイン」ノ製造數量ハ三七一、〇二八トセリ

ハ關東州ノ阿片收入及臺灣ノ煙膏拂下ノ收入ノ記載ハ省略セリ

九 備考ハ總テ省略セリ

十 内地ノ年報ノ法令違反ニ對スル起訴事件數ハ司法省側ノ統計ニ依レリ臺灣朝鮮及關東州ニ付テハ昨年度ノ年報ト同様ナリ

十一 其他注意スヘキ點左ノ如シ

(赤 梓 紙)

外 務 省

- (イ) 「コカイン」ノ製造數量ノ問題（七参照）
 - (ロ) 關東州ノ阿片煙膏消費量ノ數量
 - (ハ) 朝鮮ノ「モルヒネ」製造商中ノ粗製「モルヒネ」五二三、五二二
- 四

(赤 粹 紙)

外 務 省

國際聯盟ニ提出スヘキ一九二五年度ノ阿片年報作成ニ關スル件

- 一九二五年度ノ阿片年報ハ大体一九二四年度ノ年報作成ノ方針ニ依リテ作成セルカ其ノ要旨左ノ如シ
- 一 移入及移出關係ノ數量ハ全部削除セリ
- 二 國內消費量ニ關スル數字ハ全部削除セリ
- 三 「モルヒネ」含有製劑ニ付テハ統計ノミヲ掲ケ各別ノ統計ヲ掲ケ
 本内 降 了 印 指 出 2
- 四 製薬用ニ使用セラレタル生阿片ニ付テモ三ト同様使用セラレタル生阿片ノ總量ノミヲ掲ケタリ
- 五 癮酸「コデイン」ニ關スル數字ハ全部削除セリ

(赤 粹 紙)

外 務 省

(赤 梓 紙)

六 「コカ」葉ノ輸入數量ハ削除セリ

七 鹽酸「コカイン」製造數量ノ算出ハ其年ニ於ケル「コカ」葉及粗

製「コカイン」ノ輸入許可數量ニ其ノ收得率ヲ乗シタルモノナリ

但シ收得率ハ

「コカ」葉ヨリ鹽酸「コカイン」ヲ製造スル場合ニハ

〇、三五%

粗製「コカイン」ヨリ鹽酸「コカイン」ヲ製造スル場合ニハ

四五%

「例」

星製藥株式會社ノ場合ニ於テハ大正十四年ニ於ケル許可數量ハ

粗製「コカイン」 六一四、〇四〇

キロ

外 務 省

(赤 梓 紙)

「コカ」葉 二七、〇六〇、〇〇〇ナリ

故ニ右數量ヲ各鹽酸「コカイン」ニ概算スレハ

即チ大正十四年ニ於ケル星ノ鹽酸「コカイン」ノ製造數量ハ三

七一、〇二八トセリ

八 關東州ノ阿片收入及臺灣ノ煙膏拂下ノ收入ノ記載ハ省略セリ

九 備考ハ總テ省略セリ

十 内地ノ年報ノ法令違反ニ對スル起訴事件數ハ司法省側ノ統計ニ依

レリ臺灣朝鮮及關東州ニ付テハ昨年度ノ年報ト同様ナリ

十一 其他注意スヘキ點左ノ如シ

外 務 省

(赤
枠
紙)

(イ)「コカイン」ノ製造數量ノ問題(七参照)

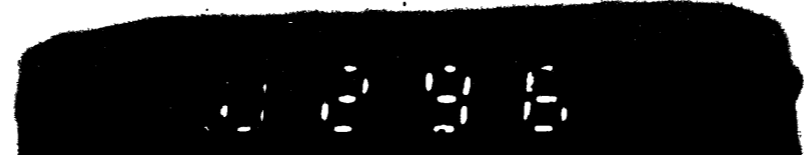
(ロ)關東州ノ阿片煙膏消費量ノ數量

(ハ)朝鮮ノ「モルヒネ」製造商中ノ粗製「モルヒネ」五二三、五二

四

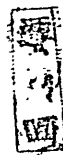
外
務
省

研-0324



急

32



文書課長 (印)

公 信 案

大正十五年十二月九日

18

(甲 號 用 紙)

文書課發送

大正十五年 拾貳月 拾日發送

淨書 (印)

正校(原稿)

(淨書)

主 管 儲 鈔 局 長



任 主 條 約 署 長

(起草 大正十五年十二月九日)

條三

機 密 第 一 號

五 六

大 正

年

月

日 附

附 局 書

通

受 信

在 巴 里

人 名

宇 佐 美 子 長 代

發 信

人 名

幣 勇 吉

件 名

一九三五年度ノ英文 附 年報 訂正一件

綴 込 名

本月一日條三機密第一五柳ヲ以テ申達名以外左記

一 追加訂正の相成夜

記

公 信 案

外 務 省

(乙 號 用 紙)

朝鮮一部

第五頁 VI Morphine's 2. Manufacture 表中一數

量 三〇三三 kilos : 一三〇五三一誤

第六頁 一 末行 一・五二五〇二二 四二七 一 誤

(本文)

第七頁 八 一 No such drugs were imported or

manufactured or manufactured 削除ス

台灣一部

外 務 省

研-0324

33

條約一覽表

條約号表

112

江略

(1)

南省島

巴里波

昭和二年(日露戦争)

華僑外務局

林下白良

第 部

各年往還野方... 昭和二年(日露戦争)...

Handwritten signature or mark



條約局長



不要處分

條約課長

○ 一二三
印 年 月 日

170 年 月 日

開東廳

印 年 月 日

栗山 佐治 局長 代理 開東廳 局長

十一月八日附條三條第七號條約照會
ノ附片吸煙者數ニ關スル件ハ十一月二
八日附植局程由ニ送達消ニ付寄附
知ヲ請フ

研-0324

